

KAWAI

DIGITAL PIANO ES110 取扱説明書

ご使用前の準備

ピアノを演奏する

内部ソング

録音する

様々な設定

付録

JA

このたびは、KAWAI デジタルピアノ ES110 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末長くご愛用いただくためにも、この取扱説明書をよく
お読みいただき、たいせつに保管くださいますようお願い致します。

■ 付属品(お確かめください)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 保証書 | <input type="checkbox"/> 電源コードセット |
| <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書(本書) | <input type="checkbox"/> ACアダプター (PS-129) |
| <input type="checkbox"/> 操作ガイド | <input type="checkbox"/> フットペダルF-10H |
| <input type="checkbox"/> カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 | <input type="checkbox"/> 譜面立て |


※予告なしに内容を変更する場合があります。


安全上のご注意


ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。


ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。


■警告と注意、記号表示について

 **警告**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

 **注意**
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。


 △記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。


 ⊘記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。


 ●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。


警告


 100V以外禁止
電源は必ず AC100V を使う
電圧の異なる電源を使用しないでください。発火のおそれがあります。


 専用コード使用
付属の電源コードは本機でのみ使用する
付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。


 コードを傷つけない
電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない
コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。


 **本機を分解、修理、改造しない**
故障・感電・ショートのおそれがあります。


 **この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない**
故障・感電・発火の原因になります。


 **水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因になります。


 **照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない**
火災のおそれがあります。

 **異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く**

 異物を入れない
本機の内部に異物を入れないようにする
水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

 落とさない
本機を落としたり、強い衝撃を加えない
怪我および破損の恐れがあります。

 **不安定な場所に置かない**
怪我や破損のおそれがあります。

 **ヘッドホンは大音量で長時間使用しない**
聴力低下の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



落雷の恐れのあるときや長時間使用しないときは必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になるおそれがあります。



通気確保

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。



コード類を接続するときは、各機器の電源を切っている

本機や接続機器の故障の原因になります。



取扱注意

設置作業や移動作業は必ず2人で行い、取り扱いに十分注意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重いものを乗せたりしない

変形したり、倒れるおそれがあり、故障やけがの原因になります。



電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

ACアダプターは電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。



電源は必ず付属の AC アダプターを使用する

付属の AC アダプターは本機専用ですので他の機器で使用しないでください。



AC アダプターに布団をかぶせたり、こたつの中で使用しない



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
- ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- ・戸外など極端に温度の低い場所
- ・極端に湿度の高い場所
- ・砂やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

故障の原因になります。



ベンジン/シンナー
禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。お手入れについては下の「お手入れについて」を参考にしてください。

■お手入れについて

本体 乾いた柔らかい布で拭いてください。

ペダル 表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない 色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

*お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

* "MIDI" は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

* **Bluetooth**® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

* Bluetooth (Ver4.1 GATT 対応) / Bluetooth Low Energy MIDI Specification に準拠しています。

目次

安全上のご注意	4
目次	6
はじめに	7

ご使用前の準備

各部の名称とはたらき	8
他の機器に接続する	9
背面パネルの端子	10
前面パネルの端子	10
演奏前の準備	11
基本の操作	12

ピアノを演奏する

音色を選択する	13
2つの音色を重ねる (デュアルモード)	15
2つの音色を並べる (スプリットモード)	16
メトロノーム/ドラムリズムを使う	17
レジストレーション機能を使う (レジストレーションメモリー)	19

内部ソング

デモ曲を聴く	20
レッスン機能を使う	21
1. レッスン曲集/曲を選ぶ	21
2. 選んだレッスン曲を聴く	22
3. 左手と右手のパートを別々に練習する	23

録音する

録音する	24
1. 曲を録音する	24
2. 曲を再生する	25
3. 録音した曲を消去する	25

様々な設定

設定メニュー	26
1. リバーブ	27
2. ダンパーレゾナンス	28

3. ボイシング	29
4. キーアクションノイズ	30
5. ダンパーノイズ	31
6. 移調する (トランスポーズ)	32
7. ブリリアンス	33
8. タッチ	34
9. チューニング	35
10. 音律	36
11. 音律の主音の設定	37
12. エフェクトのオン/オフ	38

MIDIを設定する

1. プログラムナンバーの送信	41
2. MIDIチャンネル (送信/受信)	42
3. ローカルコントロール	43
4. マルチティンバーモード	44

スピーカーを設定する

1. スピーカーEQ	45
2. スピーカーのオン/オフ	46

その他の設定をする

1. 電源セッティング (オートパワーオフ)	47
2. Bluetooth® MIDI	48

メモリー機能を使う

1. スタートアップセッティング	49
2. ファクトリーリセット	49

付録

困ったときは?	50
設定の一覧	51
デモ曲一覧	52
ドラムリズム一覧	53
レッスン曲一覧	54
主な仕様	56
MIDIインプリメンテーションチャート	57
操作ガイド	58

■ ES110 の主な特色

レスポンス・ハンマー・アクション・スタンダード (RHS) でピアノタッチを実現

アコースティックのグランドピアノに特有のタッチを再現するため、新たにレスポンス・ハンマー・アクション・スタンダード (RHS) アクションを開発しました。アコースティックピアノのハンマーを再現し、低音域では重く高音域になるほど軽くなるようにしています。

軽量でコンパクトながら、高性能な RHS アクションは、力強く安定したフォルティシモから繊細で優しいピアノシモまで、表現豊かな演奏を可能にします。

HI (Harmonic Imaging™) 音色テクノロジーによる 88 鍵のピアノのサンプリング

コンサート用グランドピアノの美しい音色を、専用の HI (Harmonic Imaging™) テクノロジーを使って忠実に再現しました。この独自の методによって、グランドピアノの幅広いダイナミックレンジを正確に再現することができます。もっとも優しいピアノシモからもっとも強いフォルティシモまでの、非常に表現力の高い演奏が可能です。

また、リサイタルルーム、スモールホール、コンサートホールといったアコースティックの環境をシミュレートした反響効果を用いて、豊かで鮮やかなピアノの音を実現しています。

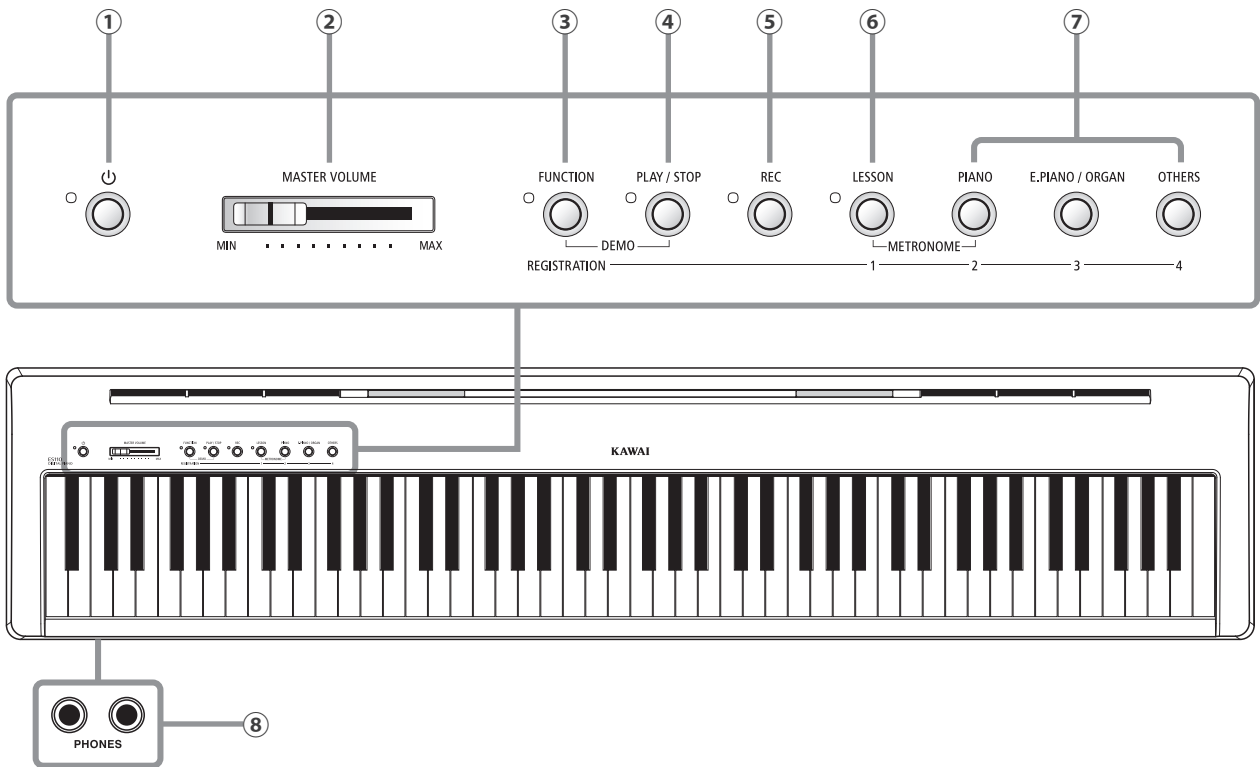
内部ソングレコーダーと内蔵されたレッスン機能

3つのソングレコーダーを備え、演奏を録音したり再生したりできます。また、ブルグミュラーの練習曲集や人気のアルフレッド・ピアノライブラリーの曲が入っている便利なレッスン機能を使って、ピアノの練習をすることもできます。それぞれの曲では、右手と左手のパートを別々に練習でき、難しいフレーズを身に着けるためにテンポも調節できます。

Bluetooth® MIDI 接続

他の楽器との接続に使う標準の MIDI 端子に加え、スマートデバイスと無線接続できる Bluetooth MIDI テクノロジーもご用意しています。携帯電話やタブレット、ノートパソコンなどに無線接続すれば、ケーブルを増やさずに、幅広い音楽関連アプリを楽しむことができます。

各部の名称とはたらき



① 電源ボタン

電源をオン/オフするスイッチです。

* 一定期間操作がないと自動的に電源をオフする節電機能を備えています。
より詳しくは、P.47の電源セッティングをご覧ください。

② MASTER VOLUME スライダー

内蔵スピーカーやヘッドホンの音量を調節します。また、ラインアウトの音量も調節できます。

③ FUNCTION ボタン

様々な設定を調節できます。

④ PLAY / STOP ボタン

メモリーに保存されているレコーダー曲やレッスン曲の再生の開始と停止に使用します。

⑤ REC ボタン

内部メモリーへの演奏の録音に使用します。

⑥ LESSON ボタン

内蔵レッスン曲の選択に使用します。

⑦ 音色ボタン

鍵盤を演奏したときに聞こえる音色を選ぶために使用します。
このボタンは、レジストレーションメモリーを選択するためにも使用します。

⑧ ヘッドホン端子

ステレオヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2本まで接続して同時に使えます。

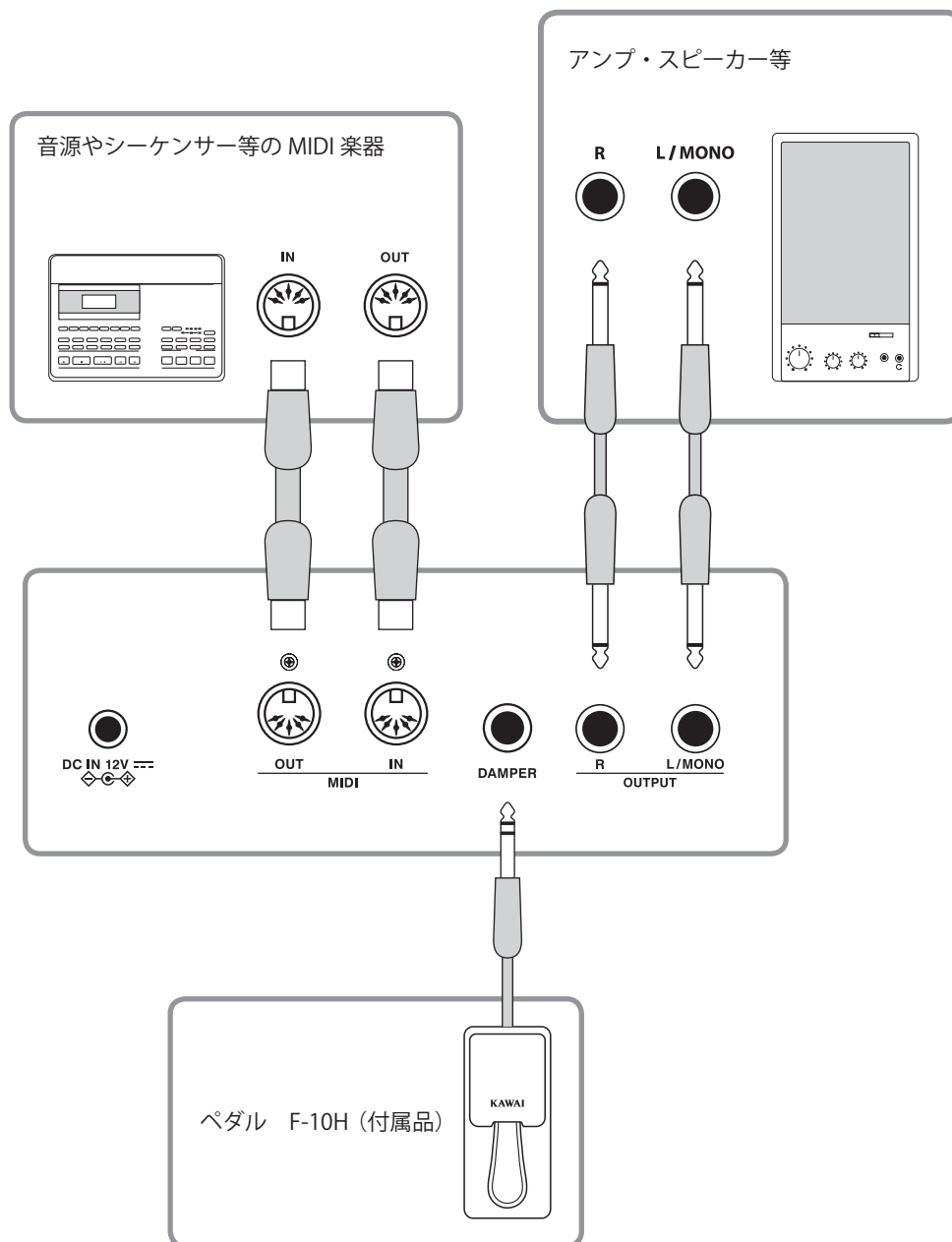
* 接続端子についての詳しい情報はP.10をご覧ください。

■ 操作ガイド

様々なボタンや鍵盤操作についてまとめた操作ガイドをご用意しております。
また、取扱説明書（本書）の付録にも収録されています。

他の機器に接続する

背面パネルには、MIDI 機器、コンピューター、スピーカー、ミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。下図は、この楽器のコネクターの図示と代表的な接続例です。



他の機器と接続するときは、本機と接続する機器の両方の電源を切っておこなってください。電源が入っているときに接続すると、機器に損傷を与える可能性があります。また、楽器のアンプの保護回路が働いて音が出なくなることがあります。音が出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して、アンプの保護回路をリセットしてください。

背面パネルの端子

■ DAMPER 端子

付属の F-10H フットペダルを楽器に接続するために使います。

* ペダル機能について、くわしくは P. 11 をご覧ください。

■ MIDI IN/OUT 端子

外部 MIDI 機器や MIDI インターフェイスのあるコンピューターと接続するために使う端子です。

* Bluetooth MIDI を通してスマート機器と接続するときは、MIDI IN/OUT 端子はオフになります。

* MIDI について、くわしくは P. 39 をご覧ください。

■ LINE OUT 端子 (1/4 インチ PHONE 端子)

外部のスピーカーやアンプ、ミキサー、録音機器などの機材のステレオ出力に接続するために使う端子です。モノラル信号は、L/MONO 端子のみにケーブルを接続したときに出力されます。マスターボリュームスライダーでラインアウト端子の出力レベルを調整できます。

* ラインアウト端子を使うときは、音質を最適化するため内蔵スピーカーとスピーカー EQ の両方をオフにできます。

* スピーカーのオン/オフ設定とスピーカー EQ の設定について、くわしくは P. 45 と P. 46 をご覧ください。

前面パネルの端子

■ PHONES 端子 (1/4"PHONE 端子)

ステレオヘッドホンを接続するための端子です。ヘッドホンは 2 本まで接続して同時に使うことができます。ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

内蔵スピーカーはスピーカーのオン/オフ設定でもオフにできます。

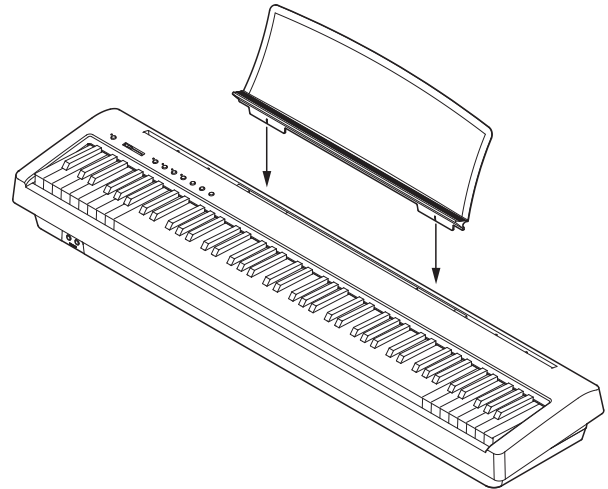
* スピーカーのオン/オフ設定について、くわしくは P. 46 をご覧ください。

演奏前の準備

■ 譜面立てを取り付ける

譜面立てをピアノ背面の穴に差し込みます。楽器の背面に傷がつかないように注意してください。

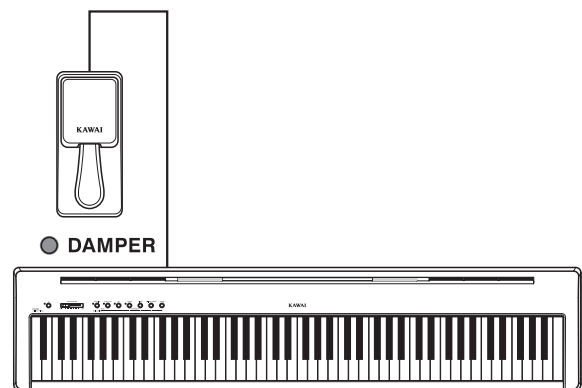
損傷を防ぐため、譜面立ての取り付け・取り外しの際には、無理な力をかけないようにしてください。



■ F-10H フットペダルを接続する

付属の F-10H フットペダルを、本体の背面パネルにある DAMPER ペダル端子に接続します。

フットペダルを踏むと、鍵盤から指を離した後も音が残ります。踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

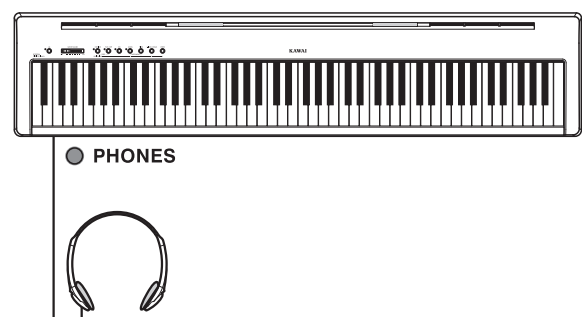


■ ヘッドホンを接続する

鍵盤の左側にあるヘッドホン端子を使って、ステレオヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを同時に2本接続して使用できます。ヘッドホンを接続していると、内蔵スピーカーからは音は出ません。

* 内蔵スピーカーはスピーカーのオン/オフ設定でもミュートできます。くわしくは、P.46 をご覧ください。

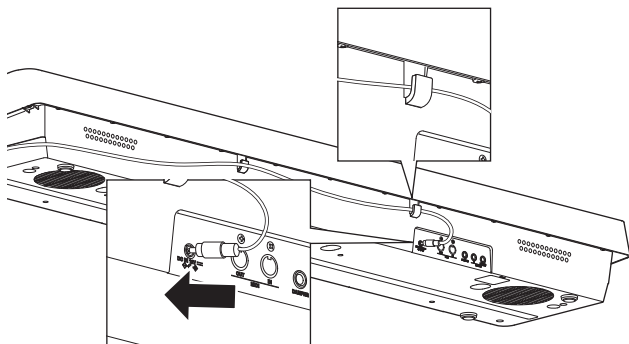


基本の操作

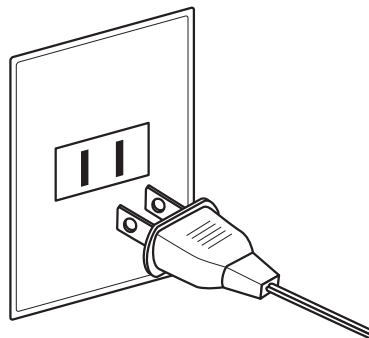
ここでは、電源コードの接続から、ピアノの演奏を始めるまでを説明します。

1. AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターと電源コードを接続します。
付属の AC アダプターを、下図のように本体の背面パネルにある DC IN 端子に接続します。



電源コードのプラグを AC コンセントに差し込みます。



2. 電源を入れる

コントロールパネル左側にある電源ボタンを押します。

* 一定の期間操作がないと自動的に電源をオフにする節電モードがあります。電源セッティングについては P.47 をご覧ください。

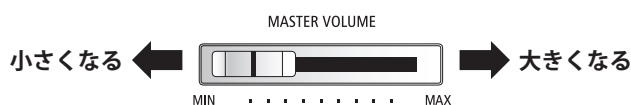


3. 音量を調整する

MASTER VOLUME スライダーは、内蔵スピーカーや接続したヘッドホン、また LINE OUT の音量を調節します。

スライダーを右へ動かすと音量が大きくなり、左へ動かすと音量が小さくなります。

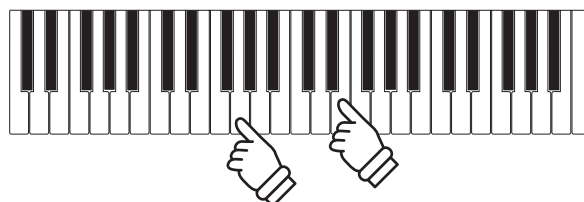
まず中央付近にスライダーをセットし、その後好みの音量に調節してください。



4. ピアノを演奏する

ピアノの演奏を始めます。

鍵盤を弾くと、カワイ EX コンサートグランドピアノの音色が鳴ります。



音色を選択する

3つの音色ボタンに19種類の音色が割り当てられています。音色の選択には2つの方法があります。初期状態では、電源を入ると自動的に「コンサートグランド1」が選択されます。

■音色一覧

ピアノ	E. ピアノ/オルガン	その他
1 コン서트グランド1	1 クラシック E. ピアノ	1 スロースtringス
2 コン서트グランド2	2 60's E. ピアノ	2 Stringスアンサンプル
3 スタジオグランド1	3 モダン E. ピアノ	3 ウッドベース
4 スタジオグランド2	4 ジャズオルガン	4 エレクトリックベース
5 メローグランド1	5 チャーチオルガン	5 ハープシコード
6 メローグランド2		6 ビブラフォン
7 モダンピアノ		
8 ロックピアノ		

* ジャズオルガン音色を選択しているときは、FUNCTION ボタンと REC ボタンを同時に押すことで、適用されるロータリー効果のスピードを変更できます。

1. 音色のグループを選ぶ

選びたい音色ボタンを押します。



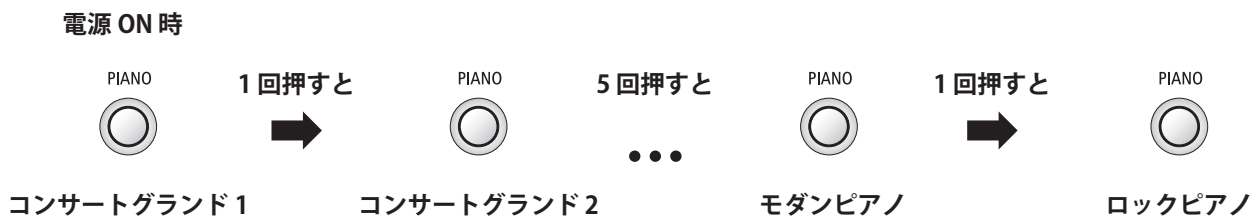
例：E.PIANO のグループを選ぶには、E.PIANO ボタンを押します。

2. 音色を選ぶ

音色の選択方法が2種類あります。

■方法1

音色ボタンを繰り返し押して、音色名を切り替えていきます。



音色を選択する

■方法2

音色ボタンを押したまま、低音側の白鍵を押して選みたい音色を選びます。

PIANO
押しながら

最低音の鍵盤

A ⁰	C ¹	D ¹	F ¹	G ¹	A ¹	C ²	D ²	F ²	G ²	A ²	C ³	D ³						
A0	B0	C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3

- コンサートグランド1
- コンサートグランド2
- スタジオグランド1
- スタジオグランド2
- メローグランド1
- メローグランド2
- モダンピアノ
- ロックピアノ

ピアノ

E.PIANO / ORGAN
押しながら

最低音の鍵盤

A ⁰	C ¹	D ¹	F ¹	G ¹	A ¹	C ²	D ²	F ²	G ²	A ²	C ³	D ³						
A0	B0	C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3

- クラシックピアノ
- 60's E.ピアノ
- モダンE.ピアノ
- ジャズオルガン
- チャーチオルガン

E.ピアノ/オルガン

OTHERS
押しながら

最低音の鍵盤

A ⁰	C ¹	D ¹	F ¹	G ¹	A ¹	C ²	D ²	F ²	G ²	A ²	C ³	D ³						
A0	B0	C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3

- スローストリングス
- ストリングスアンサンブル
- ウッドベース
- エレクトリックベース
- ハーブシコード
- ビブラフォン

その他

ピアノを演奏する

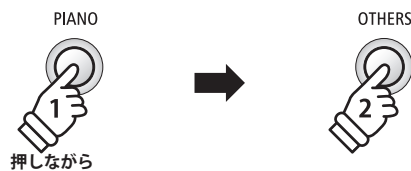
2つの音色を重ねる（デュアルモード）

デュアルモードは、2つの音色を重ね合わせて、さらに複雑な音色を作る機能です。
例えば、ピアノの音をストリングと重ねたり、電子ピアノをハーブシコードと組み合わせたりします。

1. デュアルモードをオンにする

組み合わせたい音色（メイン音色）を選び、その音色ボタンを押しながら、もう一つの音色ボタンを押して重ねる音色（レイヤー音色）を選びます。

* お好みのデュアルモードの音色の組み合わせをレジストレーションメモリーに保存して、簡単に呼び出すことができます。くわしくは、P.19をご覧ください。

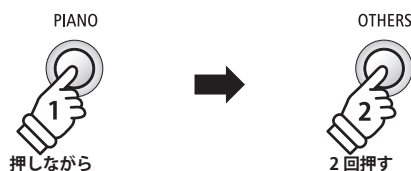


例：「コンサートグランド1」音色に「スローストリングス」音色を重ねるには、PIANO ボタンを押しながら OTHERS ボタンを押します。

2. メイン音色／レイヤー音色を変更する

レイヤー音色のバリエーションを変更する：

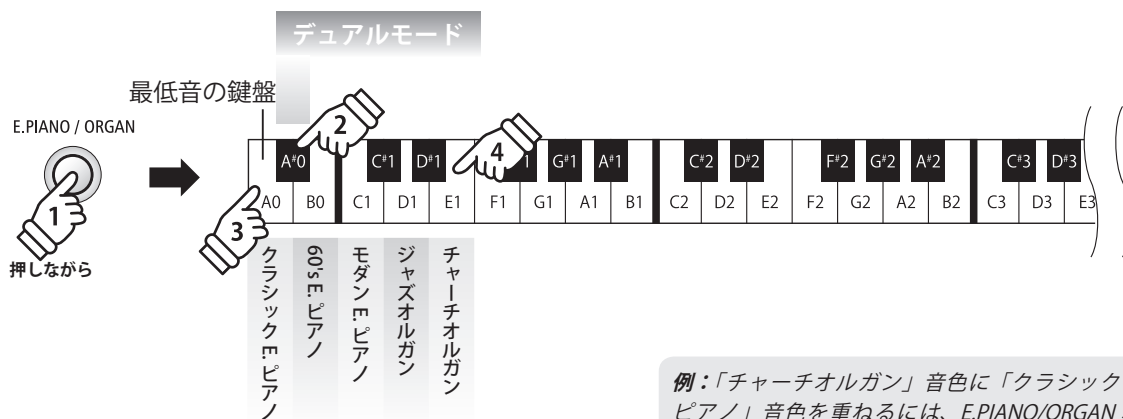
メイン音色の音色ボタンを押しながら、レイヤー音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。



例：レイヤー音色の「スローストリングス」を「ストリングアンサンブル」に変更するには、PIANO ボタンを押しながら OTHERS ボタンを2回押します。

同じ音色ボタンに割り当てられた異なる音色を重ねる：

音色ボタンを押しながら、A#0の鍵盤を押してデュアルモードをオンにし、2個の白鍵を押して選びたい音色を選択します。



例：「チャーチオルガン」音色に「クラシックEピアノ」音色を重ねるには、E.PIANO/ORGAN ボタンを押しながら A#0の鍵盤を押し、続いて A0と E1の鍵盤を押します。

■音量バランスを調節する

音色ボタンを押しながら F#1と G#1の鍵盤を繰り返し押して、2つの音色の音量バランスを調整します。

■デュアルモードを終了する

音色ボタンを押します。

それ以前に選択していた音色が自動的に選ばれて、楽器が通常演奏の状態に戻ります。

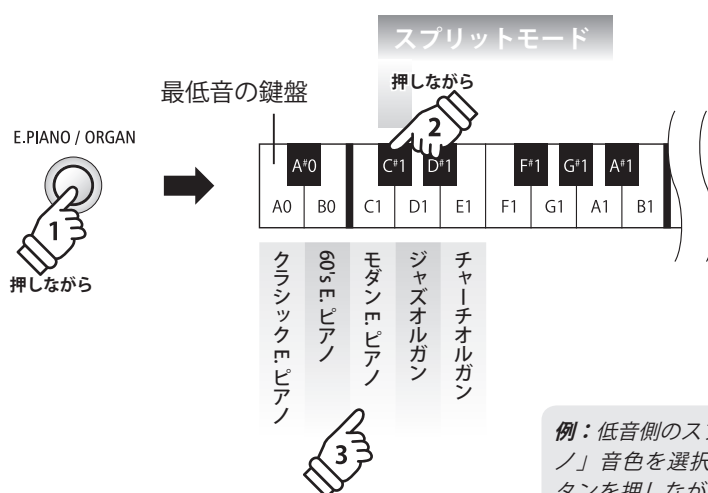
2つの音色を並べる（スプリットモード）

スプリットモードは、鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をする機能です。例えば、低音側でベース音色、高音側でピアノ音色を発音させることができます。

■スプリット音色を選ぶ

メイン（高音側）音色を選択してから：

音色ボタンを押しながら、C#1の鍵盤を押してスプリットモードに入り、白鍵で選びたい低音側の音色を選択します。



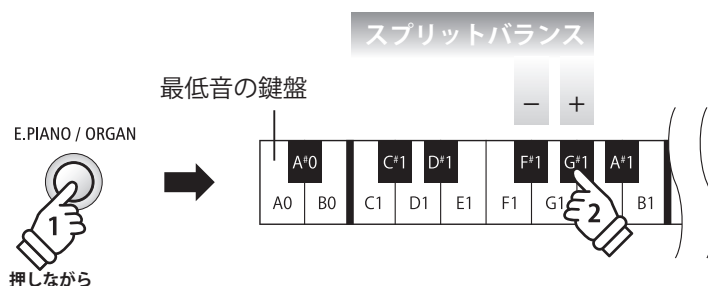
* スプリット位置はF#3の鍵盤とG3の鍵盤の間に固定されています。

* 低音側の音色を指定しないと、自動的に「ウッドベース」が選択されます。

* お好みのスプリットモード音色の組み合わせをレジストレーションメモリーに保存して、簡単に呼び出すことができます。くわしくは、P.19をご覧ください。

■音量バランスを調整する

音色ボタンを押しながらF#1の鍵盤とG#1の鍵盤を繰り返し押して、2つの音色の音量バランスを調整します。



■スプリットモードを終了する

音色ボタンを押します。

それ以前に選択していた音色が自動的に選ばれて、楽器が通常演奏の状態に戻ります。

メトロノーム／ドラムリズムを使う

メトロノームは正確なテンポでピアノを練習するための機能です。
メトロノームの拍子、音量、テンポは調節できます。

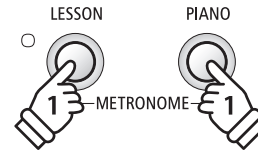
■メトロノームのオン／オフ

LESSON ボタンを押しながら PIANO ボタンを押します。

すると、メトロノームが発音します。

* 初期設定では、メトロノームは 4/4 拍子で 120 (拍/分) のテンポになっています。

もう一度 LESSON ボタンを押しながら PIANO ボタンを押すと、メトロノームが止まります。



■メトロノームの拍子を変更する

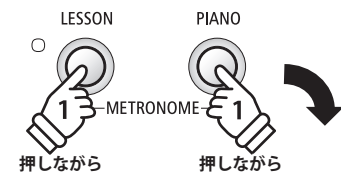
下図のように、LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、最低音側の黒鍵 7 個のうち 1 つを押します。

* メトロノームは次の 7 種類の拍子のいずれかに設定できます：
1/4 拍子、2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子、5/4 拍子、3/8 拍子、6/8 拍子

■メトロノームの音量を調整する

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、下図で 1 から 10 の鍵盤を押します。

* メトロノームの音量は -/+ 鍵盤を使って上げ下げすることもできます。
調整の範囲は 1 から 10 の間です。



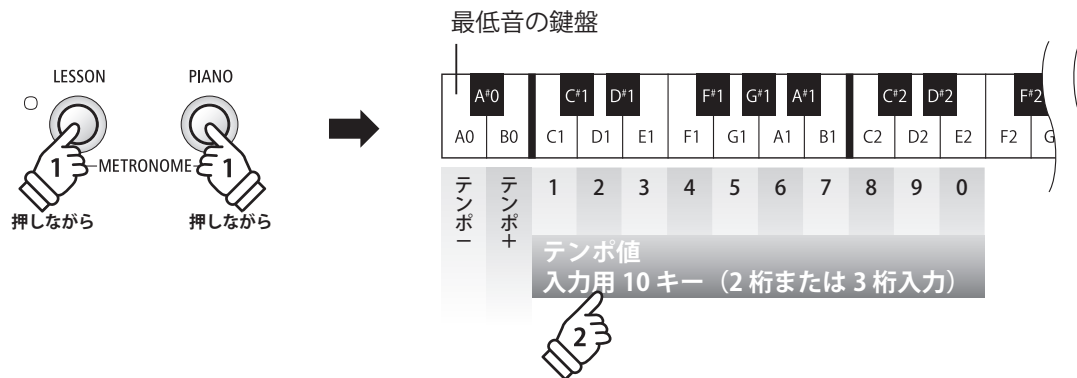
最低音の鍵盤

拍子																											
1/4		2/4			3/4		4/4		5/4		3/8		6/8														
A ⁰	B ⁰	C ¹	D ¹	E ¹	F ¹	G ¹	A ¹	B ¹	C ²	D ²	E ²	F ²	G ²	A ²	B ²	C ³	D ³	E ³	F ³	G ³	A ³	B ³	C ⁴	D ⁴	E ⁴	F ⁴	
テンポ -	テンポ +	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	音量 -	音量 +	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
テンポ値 入力用 10 キー (2 桁または 3 桁入力)												メトロノーム音量															

メトロノーム／ドラムリズムを使う

■メトロノームのテンポを調整する

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、下図に示した最低音側の 12 個の鍵盤を使ってテンポを入力します。



- * メトロノームのテンポは 10 ～ 300 (拍/分) の間で調節できます。
- * メトロノームのテンポには、数字で正確に入力する方法と、段階的に上げ下げする方法があります。

方法 1：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、150 (拍/分) にするなら 1、5、0 の鍵盤を、85 (拍/分) にするなら 8、5 の鍵盤を押します。

- * 3 つ目の数字を入力するか、LESSON ボタンと PIANO ボタンを離すと、テンポが切り替わります。

方法 2：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、-/+ 鍵盤を繰り返し押して、テンポを 2 (拍/分) 刻みで段階的に早くしたり遅くしたりします。

■ドラムリズム

単純なメトロノームの拍子の代わりに、100 種類のリズムスタイルの中からドラムパターンを選択することもできます。

方法 1：

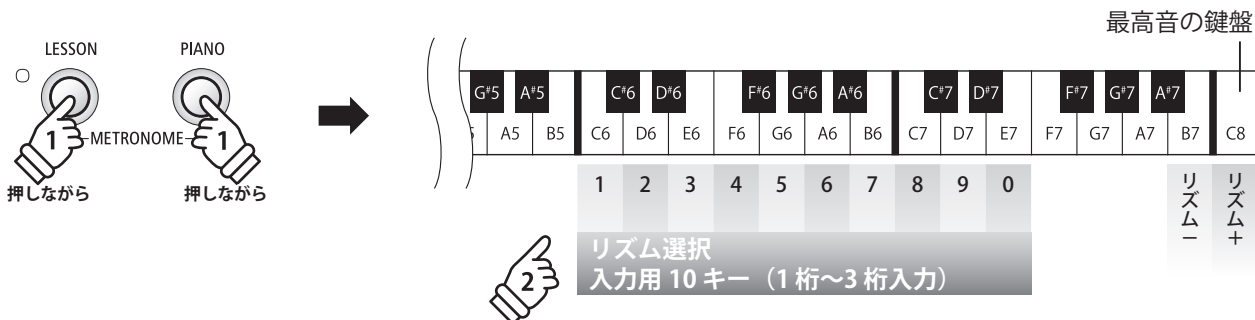
LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、リズム No.15 を選ぶなら 1、5 の鍵盤を押します。

- * 3 つ目の数字を入力するか、LESSON ボタンと PIANO ボタンを離すと、ドラムパターンが切り替わります。

方法 2：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、-/+ 鍵盤を繰り返し押して、目的のドラムリズムを選択します。

- * すべてのドラムリズムの一覧については、取扱説明書 (本書) の P.53 をご覧ください。



レジストレーション機能を使う (レジストレーションメモリー)

レジストレーションは、現在の楽器の設定（音色その他の設定）をレジストレーションメモリーに保存する機能です。レジストレーションを使うと、ボタンを押すだけで記憶した設定を呼び出すことができます。レジストレーションメモリーは4つまで保存できます。

■レジストレーションメモリーに保存できる設定の一覧

パネル	設定メニュー
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）	キーボードとサウンドの設定*
デュアル/スプリットバランス	スピーカー EQ

* トランスポーズ設定はレジストレーションメモリーに保存されません。

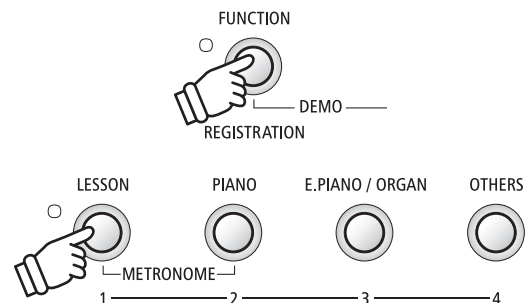
■レジストレーションメモリーを選択する

FUNCTION ボタンを押します。

レジストレーション機能を使用中は、FUNCTION ボタンのLED表示が点灯します。

LESSON ボタン (1) または音色ボタン (2～4) を押して、使いたいレジストレーションメモリーを選びます。

* レジストレーションモードを使用している場合、メトロノーム機能は無効になります。



■レジストレーションモードを終了する (以前の設定を復元する)

FUNCTION ボタンを押します。

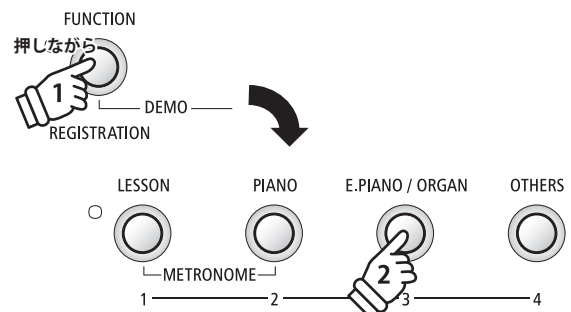
FUNCTION ボタンのLED表示が消灯して、通常の演奏モードに戻ります。



■レジストレーションメモリーを保存する

FUNCTION ボタンを押しながら、LESSON ボタン (1) または音色ボタン (2～4) を押します。

押した LESSON ボタンまたは音色ボタンに割り当てられたレジストレーションメモリーに現在の楽器の設定が保存されます。



■すべてのレジストレーションメモリーをリセットする

FUNCTION ボタンと LESSON ボタンを押しながら、楽器の電源をオンします。

すべてのレジストレーションメモリーが工場出荷時の初期設定にリセットされます。

デモ曲を聴く

内蔵された音色を紹介するためのデモ曲が用意されています。

■ デモ曲一覧

音色名	曲名	作曲者名
コンサートグランド 1	ベルガマスク組曲／前奏曲	ドビュッシー
コンサートグランド 2	子犬のワルツ	ショパン
スタジオグランド 1	オリジナル	カワイ
メロウグランド 1	ソナタ第 30 番	ベートーベン
クラシック E. ピアノ	オリジナル	カワイ
モダン E. ピアノ	オリジナル	カワイ
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
スロースtringス	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
ハープシコード	フランス組曲第 6 番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ

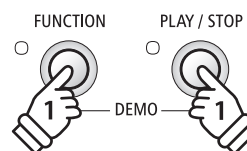
* 申し訳ございませんが、カワイオリジナルのデモ曲の楽譜はご用意していません。

1. デモ曲を再生する

FUNCTION ボタンと PLAY/STOP ボタンを押します。

FUNCTION ボタンと PLAY/STOP ボタンの LED 表示が点滅して、コンサートグランド 1 のデモ曲の再生が始まります。

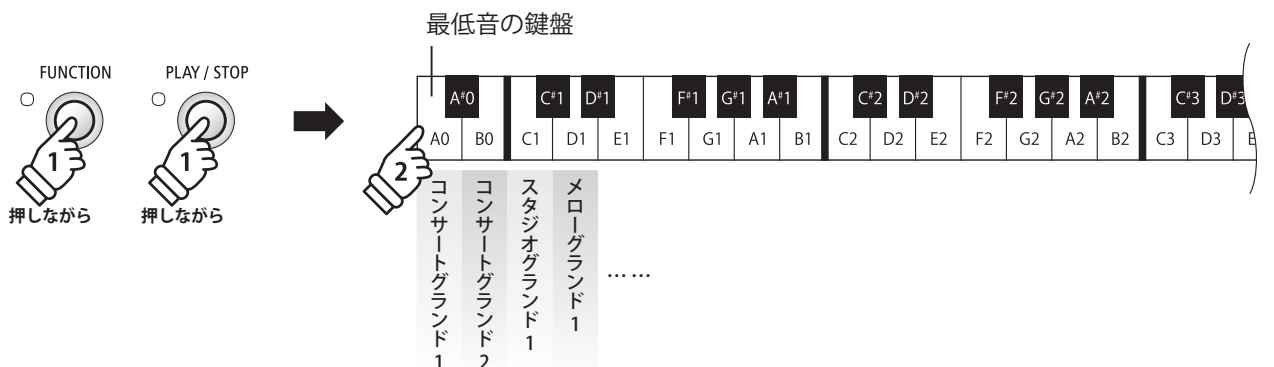
FUNCTION ボタンと PLAY/STOP ボタンをもう一度押すと、デモ演奏が止まります。



2. デモ曲を選ぶ

デモ演奏中に：

FUNCTION ボタンと PLAY/STOP ボタンを押しながら、聴きたいデモ曲に割り当てられた白鍵を押します。



* 音色ボタンを押して、それぞれのカテゴリーのデモ曲に切り替えていくこともできます。

* 選択した曲の演奏が終わると、順に次の曲を再生します。FUNCTION ボタンと PLAY/STOP ボタンを押してデモ曲を停止してください。

レッスン機能を使う

内蔵された曲集を使ってピアノの練習をすることができます。

それぞれの曲の左手と右手のパートを別々に練習でき、テンポを調整して難しいフレーズを身に着けることもできます。

■内蔵されているレッスン機能の曲集

		鍵盤
1	ブルクミュラー 25 の練習曲 全曲 (カワイ出版)	A#0
2	アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー レッスンブック レベル 1A (全音楽譜出版社)	C#1
3	アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー レッスンブック レベル 1B (全音楽譜出版社)	D#1

1 レッスン曲集／曲を選ぶ

1. レッスンモードをオンにする

LESSON ボタンを押します。

LESSON ボタンの LED 表示が点灯して、コンサートグランド 1 音色が選択されます。



2. レッスン曲集と曲を選ぶ

レッスンモードを選択している間に：

LESSON ボタンを押しながら、選びたい曲集に割り当てられている黒鍵を押して、最後に選びたいレッスン曲に割り当てられている白鍵を押します。

LESSON
押しながら

→

最低音の鍵盤

例：曲集 1 のレッスン曲 5 を選ぶには、LESSON ボタンを押しながら A#0 の鍵盤を押し、次に E1 の鍵盤を押します。

LESSON
押しながら

→

最低音の鍵盤

例：曲集 2 のレッスン曲 10 を選ぶには、LESSON ボタンを押しながら C#1 の鍵盤を押し、次に C2 の鍵盤を押します。

LESSON
押しながら

→

最低音の鍵盤

例：曲集 3 のレッスン曲 8 を選ぶには、LESSON ボタンを押しながら D#1 の鍵盤を押し、次に A1 の鍵盤を押します。

2 選んだレッスン曲を聴く

このページでは、選んだレッスン曲の再生と停止の方法とテンポの調整方法を説明します。

■ レッスン曲を再生する

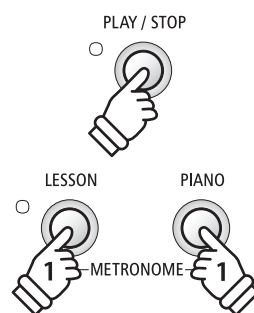
レッスンの曲集と曲を選んでから：

PLAY/STOP ボタンを押します。

PLAY/STOP ボタンの LED 表示が点灯し、曲の演奏が始まる前に 1 小節のカウントがあります。

レッスン曲の再生中に LESSON ボタンと PIANO ボタンを押すと、メトロノームがオン/オフします。

* メトロノームの拍子とテンポは現在選ばれているレッスン曲の拍子とテンポに自動的に設定されます。



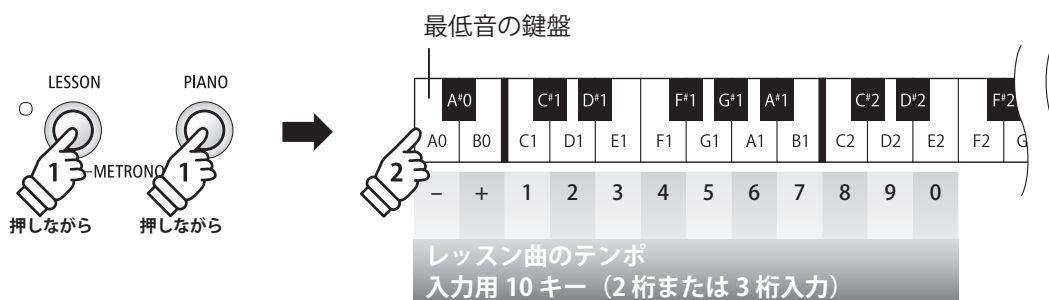
■ レッスン曲のテンポを調整する

レッスン曲の再生中に：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、図中に記した最低音部の 12 個の白鍵を使って設定したいテンポを入力します。

* レッスン曲のテンポは 10 ～ 300 (拍/分) の範囲内で調整できます。

* レッスン曲のテンポの調整には、数字を使って入力する方法と段階的に遅くしたり速くしたりする方法があります。



方法 1：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、テンポを 150 (拍/分) に設定するには 1、5、0 の鍵盤を押し、テンポを 85 (拍/分) に設定するには 8 と 5 の鍵盤を押します。

* テンポは 3 番目の数字が入力されたときか、LESSON ボタンと PIANO ボタンを離れたときに切り替わります。

方法 2：

LESSON ボタンと PIANO ボタンを押しながら、-/+ 鍵盤を繰り返し押ししてテンポを 2 (拍/分) 刻みで段階的に速くしたり遅くしたりします。

■ レッスン曲を停止する

レッスン曲の再生中に：

レッスン曲を停止するには、PLAY/STOP ボタンをもう一度押します。

PLAY/STOP ボタンの LED 表示が消灯します。



3 左手と右手のパートを別々に練習する

このページでは、選んだレッスン曲の左手や右手のパートをミュートして、それぞれのパートを別々に練習できるようにする方法を説明します。

■レッスン曲のパートをミュートする

レッスン曲集とレッスン曲を選択してから：

OTHERS ボタンを押します。

1 回押すと：
左手パートのみ



もう一度 OTHERS ボタンを押します。

2 回押すと：
右手パートのみ



さらにもう一度 OTHERS ボタンを押します。

3 回押すと：
両手パートにもどる



■レッスンモードを終了する

LESSON ボタンを押します。

LESSON ボタンの LED 表示が消灯して、通常の操作に戻ります。



録音する

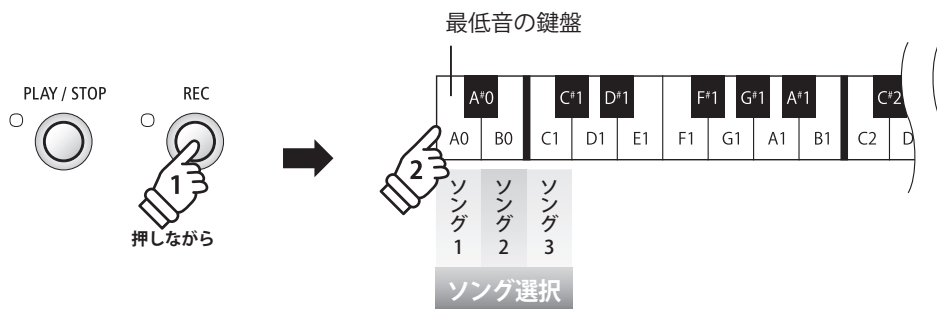
本体へ演奏を 3 曲まで録音できます。

1 曲を録音する

1. ソングを選択する

REC ボタンを押しながら、最低音部の 3 個の白鍵のひとつを押して、目的のソングを選択します。

*すでに曲が録音されているソングを選択すると、録音されていた曲は、消去されます。



2. 録音を開始する

鍵盤を弾き始めると、自動的に録音が始まります。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタンの LED 表示が点灯し、録音が始まります。



*録音は PLAY/STOP ボタンを押すことでも始められます。この方法では、曲の最初に空白や空の小節を挿入できます。

3. 録音を停止する

PLAY/STOP ボタンを押します。

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンの LED 表示が点滅し、曲が内部メモリーに保存されます。

* REC ボタンの LED 表示が点滅している間は、電源をオフにしないでください。

* 最大録音可能数は約 15,000 音で、ボタンやペダルを押すのも 1 音と数えます。録音中に最大録音可能数に到達したら、レコーダーは自動的に停止します。

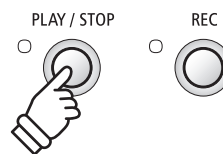
* レコーダーの曲は電源オフにした後も記憶されます。

2 曲を再生する

1. 録音した曲を再生する

PLAY/STOP ボタンを押します。

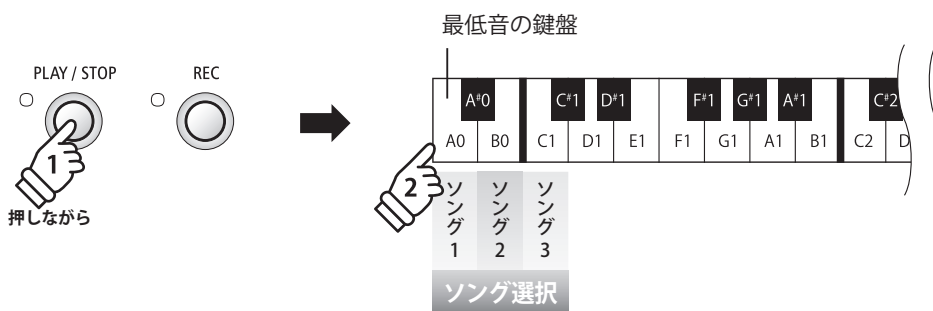
PLAY/STOP ボタンの LED 表示が点灯し、録音した曲の再生が始まります。



2. 他のメモリーに保存された曲を再生する

PLAY/STOP ボタンを押しながら、最低音部の白鍵 3 個のうち 1 つを押すと、選んだソングが再生されます。

* PLAY/STOP ボタンを離すと選んだ曲の再生が始まります。



3 録音した曲を消去する

! この処理は内部メモリーに格納された 3 曲すべてを消去するもので、やり直しはできません。

■ 録音した曲を消去する

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを同時に押しながら、楽器の電源をオンします。

メモリーに録音されたすべての曲が消去されます。



設定メニュー

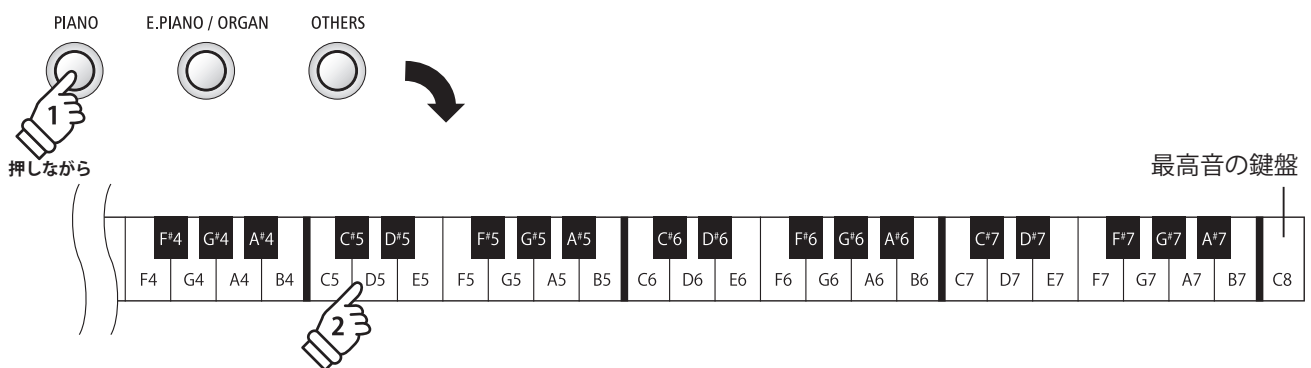
演奏を楽しむためのさまざまな設定をすることができます。

■鍵盤と音の設定一覧

項目	内容	初期設定
リバーブ	残響効果の種類を設定します。	ルーム
ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを踏んだときの共鳴効果音の音量を調整します。	ミディアム
ボイスング	弦を叩くハンマーの調整をシミュレートします。	ノーマル
キーアクションノイズ	鍵盤のアクションが戻るときのノイズ音の音量を調整します。	ノーマル
ダンパーノイズ	ダンパーペダルを操作したとき発生するノイズ音の音量を調整します。	ノーマル
トランスポーズ	全体の音程を半音単位で変更（移調）します。	0
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。	オフ
タッチカーブ	鍵盤のタッチレスポンスのカーブを選択します。	ノーマル
チューニング	0.5Hz 単位で、ピッチを調節します。	440.0Hz
音律の設定	音律を選択します。	平均律
音律の主音の設定	音律の主音を設定します。	C
エフェクトオン/オフ	エフェクトをオンまたはオフにします。	オン

■設定を変更する

音色ボタンを押しながら、変更したい設定に割り当てられた鍵盤を押します。



1 リバーブ

リバーブを有効にすると、音に残響効果が加わり、ルーム、スモールホール、コンサートホールの音響を再現できます。音色を選択すると、もっとも適したリバーブタイプが自動的に設定されますが、手動で別のリバーブタイプを選択することもできます。

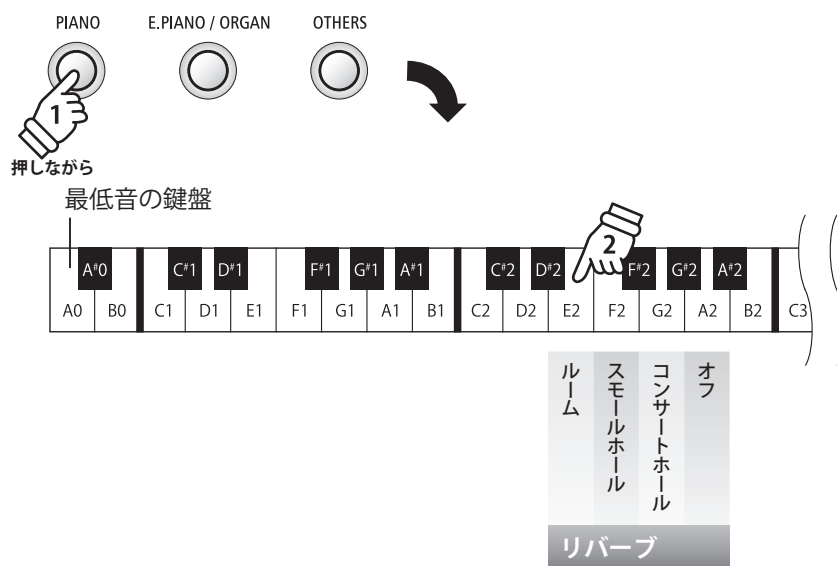
* この設定はすべての音色に効果があります。

■リバーブのタイプ

種類	効果	鍵盤
オフ	リバーブをオフにします。	A2
ルーム	室内で演奏しているような残響効果が得られます。	E2
スモールホール	小規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。	F2
コンサートホール	大規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。	G2

■リバーブタイプの変更

音色ボタンを押しながら、選択したいリバーブタイプに割り当てられた鍵盤を押します。



* リバーブをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。

リバーブがオフになっているときには、リバーブタイプを選択すると自動的にオンになります。

* リバーブの設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのリバーブ設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

2 ダンパーレゾナンス

アコースティックピアノでは、ダンパーペダルを踏むとすべてのダンパーが上がって、弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んで単音や和音を弾くと、弾いた音の弦だけでなく他の音の弦も振動して、共鳴効果が生れます。

ダンパーレゾナンス設定でこの効果を再現し、この共鳴音の音量を調整することができます。

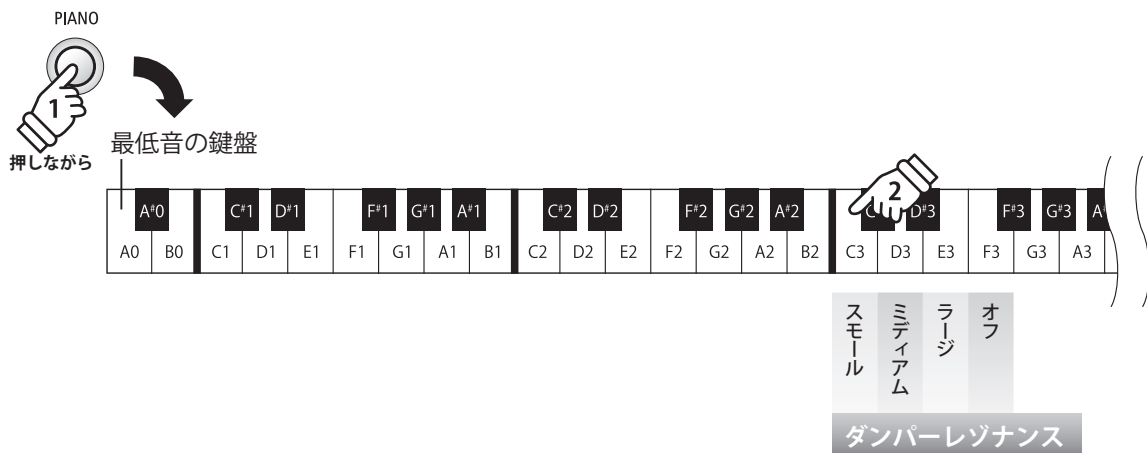
* この設定はピアノ音色にのみ効果があります。

■ ダンパーレゾナンスの音量

音量	効果	鍵盤
オフ	ダンパーレゾナンスをオフにします。	F3
スモール	共鳴音の音量を小さくします。	C3
ミディアム (初期設定)	共鳴音を中間の音量にします。	D3
ラージ	共鳴音の音量を大きくします。	E3

■ ダンパーレゾナンスの音量を変更する

PIANO ボタンを押しながら、設定したいダンパーレゾナンス音量に割り当てられた鍵盤を押します。



- * ダンパーレゾナンスをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。
ダンパーレゾナンスがオフになっているときには、ダンパーレゾナンスのタイプを選択すると自動的にオンになります。
- * ダンパーレゾナンスの設定は、電源を切るまで保持されます。
- * お好みのダンパーレゾナンス設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P. 19 と P. 49 をご覧ください。

3 ボイシング

アコースティックピアノでは、ハンマーの形や密度、素材が音色に影響します。調律師は、鍵盤全体をバランスのとれた音色にするために、針ややすり、ブラシなどの様々な道具を使ってハンマーを調整します。

ボイシング設定は、様々なハンマーの性質を再現したもので、全体的な音質を4つのタイプのいずれかに設定できます。

初期設定の「ノーマル」ボイシング設定は幅広い音楽ジャンルに適していますが、ロマンチックな曲にはもっとやわらかくメロウな音が、モダンなスタイルの曲にはもっと明るく硬質な音が好ましいかもしれません。

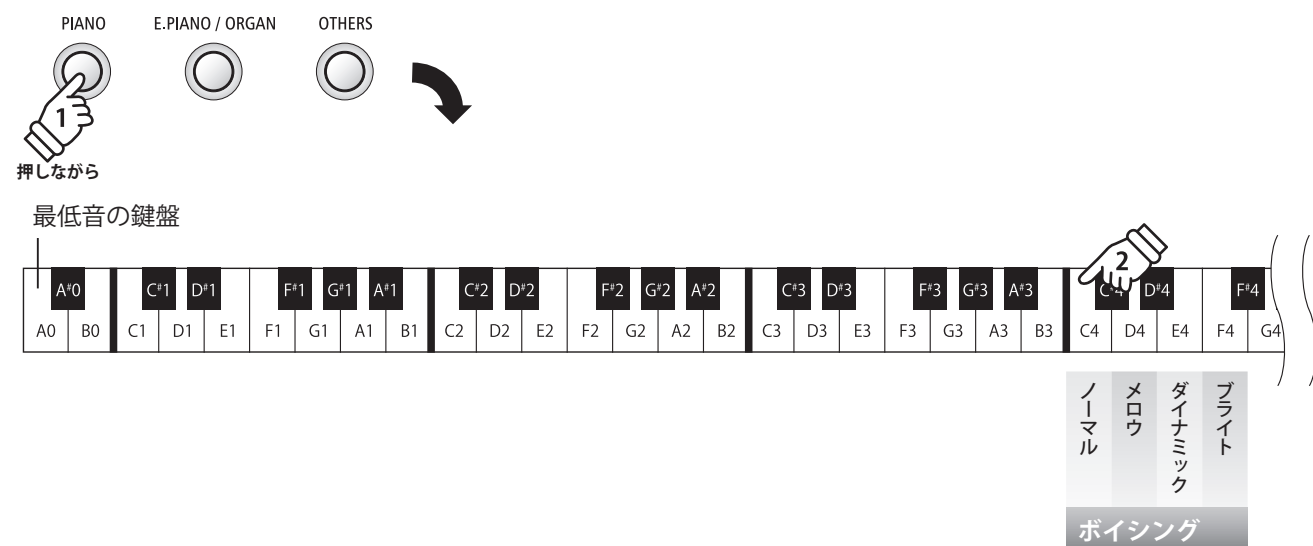
* この設定はすべての音色に効果があります。

■ ボイシングのタイプ一覧

種類	効果	鍵盤
ノーマル (初期設定)	通常の設定です。	C4
メロウ	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。	D4
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。	E4
ブライト	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。	F4

■ ボイシングのタイプを変更する

音色ボタンを押しながら、設定したいボイシングタイプに割り当てられた鍵盤を押します。



* ボイシングの設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのボイシング設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

様々な設定

4 キーアクションノイズ

アコースティックピアノの演奏中には、鍵盤を離れたあとアクションが戻ったときに、かすかな音が発生します。本機に内蔵されているピアノ音色は、このキーアクションノイズを再現しています。

ここでは、このキーアクションノイズの音量を変更できます。

初期設定では普通の音量をシミュレートしたものです。とても穏やかな曲を演奏するときには、キーアクションノイズをオフにすることができます。

* この設定はピアノ音色にのみ効果があります。

■キーアクションノイズの音量

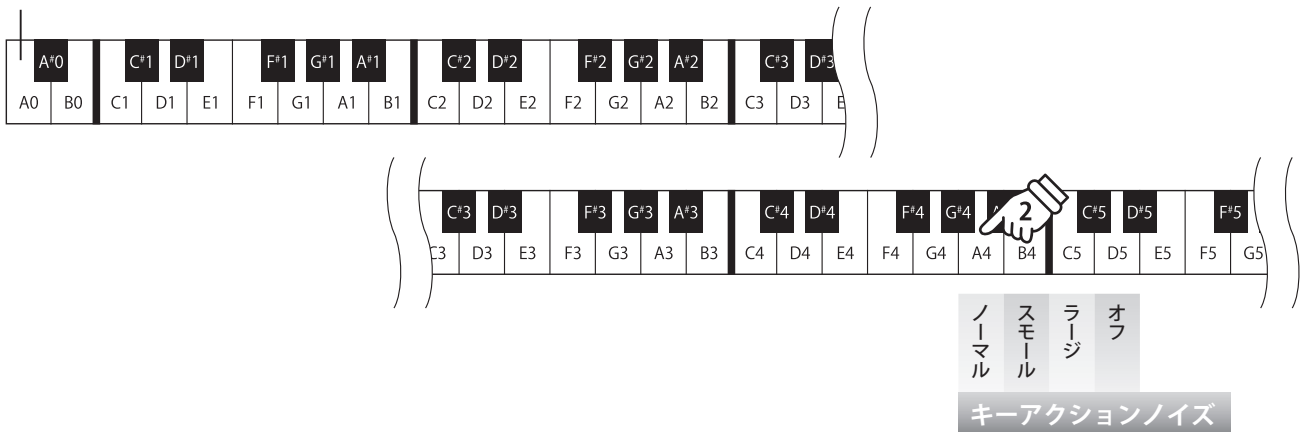
音量	効果	鍵盤
オフ	キーアクションノイズをオフにします。	D5
スモール	キーアクションノイズの音量を小さくします。	B4
ノーマル (初期設定)	キーアクションノイズの音量を通常の設定にします。	A4
ラージ	キーアクションノイズの音量を大きくします。	C5

■キーアクションノイズの音量を変更する

PIANO ボタンを押しながら、設定したいキーアクションノイズが割り当てられた鍵盤を押します。



最低音の鍵盤



* キーアクションノイズをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。

キーアクションノイズがオフになっているときには、キーアクションノイズのタイプを選択すると自動的にオンになります。

* キーアクションノイズの設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのキーアクションノイズ設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

5 ダンパーノイズ

アコースティックピアノのダンパーペダルを踏んだり離したりするときに、ダンパーヘッドが弦に触れたり離れたりする音が聞こえることがあります。本機に内蔵されているピアノ音色は、このダンパーノイズを再現しています。

ここでは、このダンパーノイズの音量を変更できます。

ダンパーノイズの音量は、ダンパーペダルを踏むスピードも影響します。

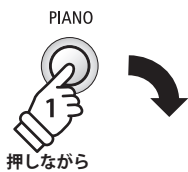
* この設定はピアノ音色にのみ効果があります。

■ ダンパーノイズの音量

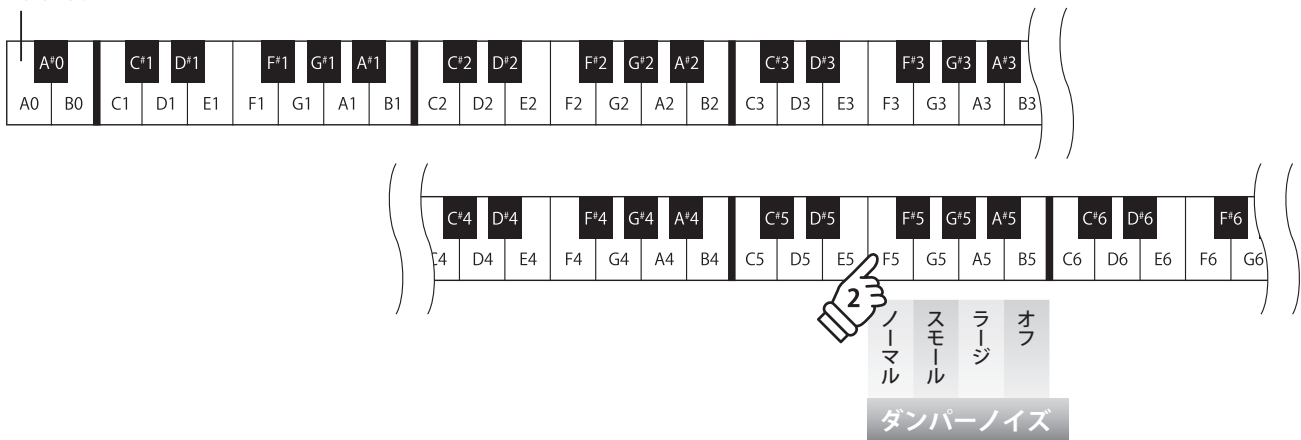
音量	効果	鍵盤
オフ	ダンパーノイズをオフにします。	B5
スモール	ダンパーノイズの音量を小さくします。	G5
ノーマル (初期設定)	ダンパーノイズの音量を通常の設定にします。	F5
ラージ	ダンパーノイズの音量を大きくします。	A5

■ ダンパーノイズの音量を変更する

PIANO ボタンを押しながら、設定したいダンパーノイズ音量に割り当てられた鍵盤を押します。



最低音の鍵盤



- * ダンパーノイズをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。
ダンパーノイズがオフになっているときには、ダンパーノイズのタイプを選択すると自動的にオンになります。
- * ダンパーノイズの設定への変更は電源を切るまで保持されます。
- * お好みのダンパーノイズ設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップ設定に保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

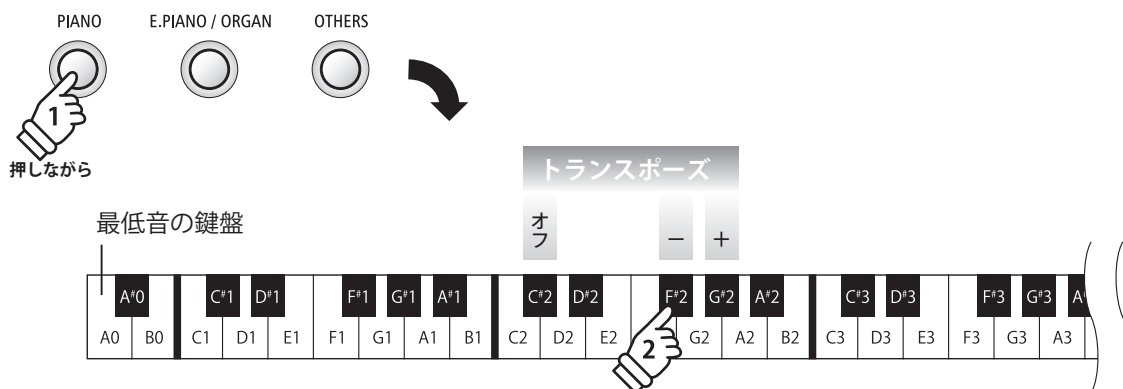
6 移調する（トランスポーズ）

トランスポーズ設定を使って、半音刻みで移調できます。調の異なる楽器と合奏するときや、ある調で覚えた曲を別の調で演奏しなければならないときに便利です。

* この設定はすべての音色に効果があります。

■ トランスポーズ設定を調整する

音色ボタンを押しながら、－／＋に割り当てられた鍵盤を押して、半音刻みで鍵盤の音程を上げ下げします。



* 鍵盤の音程は半音単位で上下1オクターブずつ（-12～+12）の範囲で設定できます。

* トランスポーズをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。

* トランスポーズ設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* トランスポーズ設定はレジストレーションメモリーやスタートアップセッティングメモリーに保存できません。

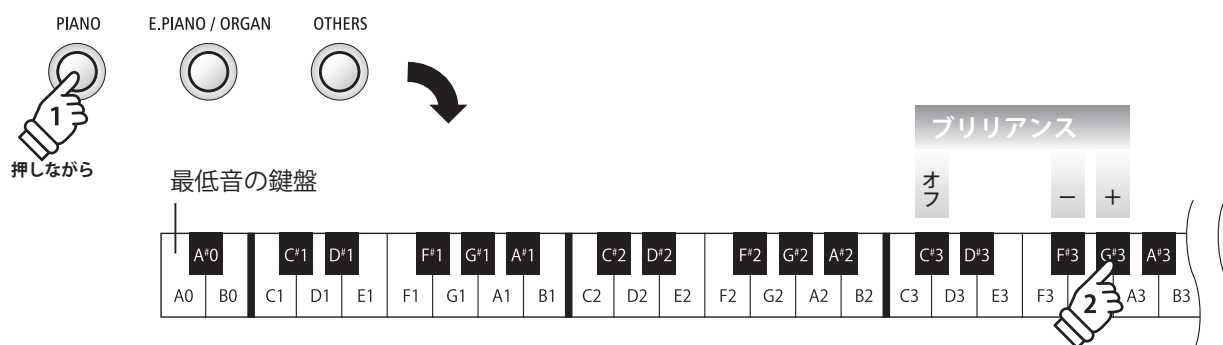
7 ブリリアンス

ブリリアンス設定では、音色の明るさを「ボイスング」設定とは別に調整できます。

* この設定はすべての音色に効果があります。

■ブリリアンスの設定を調整する

音色ボタンを押しながら、-/+に割り当てられた鍵盤を押して音の明るさを調節します。



* ブリリアンスの設定は -10 ~ +10 の範囲で設定できます。+10 がもっとも明るい設定です。

* ブリリアンスをオフにするには、「オフ」設定に割り当てられた鍵盤を押します。

* ブリリアンス設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのブリリアンス設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

8 タッチ

アコースティックピアノと同じように、鍵盤を強くたたくと大きな音が、優しく弾くとやわらかい音が出ます。ここでは、音色や演奏スタイルによって、4種類の中からタッチを選択することができます。

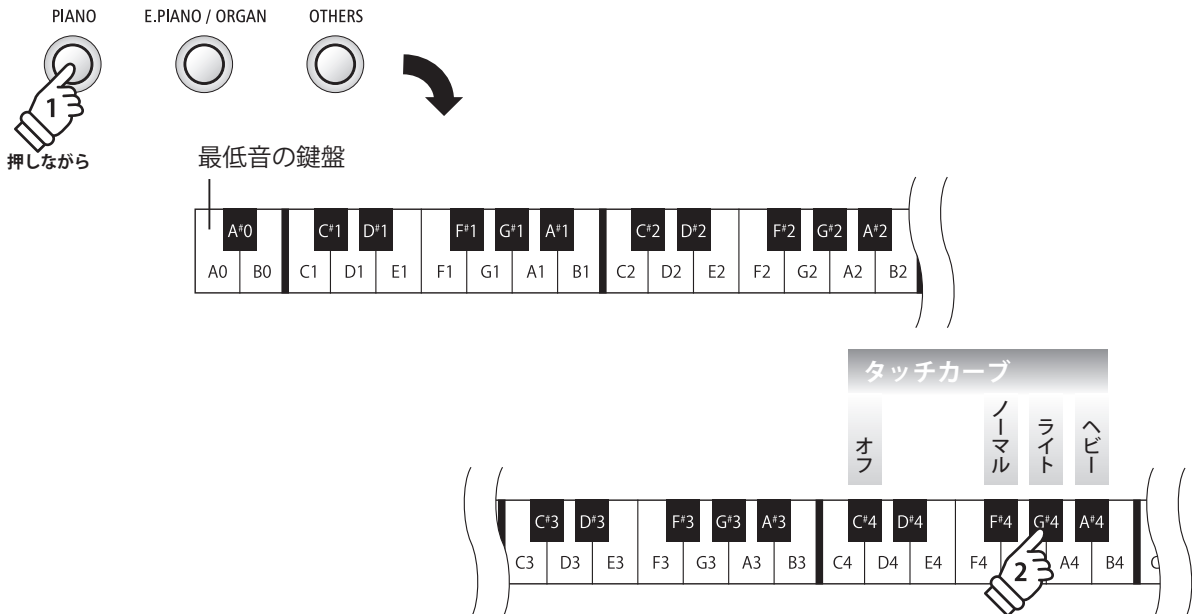
* この設定はすべての音色に効果があります。

■タッチのタイプ

種類	内容	鍵盤
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。 この設定は、オルガンやハーブシコードなどのダイナミックレンジが固定された音色にお勧めです。	C#4
ライト	弱いタッチで弾いても比較的大きな音がでます。 この設定は、小さなお子様や、オルガン奏者、指を鍛えている途中の方などにお勧めです。	G#4
ノーマル(初期設定)	アコースティックピアノのタッチを再現しています。	F#4
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。 指の力の強い人向きの設定です。	A#4

■タッチのタイプを変更する

音色ボタンを押しながら、設定したいタッチタイプに割り当てられた鍵盤を押します。



* タッチ設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのタッチ設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

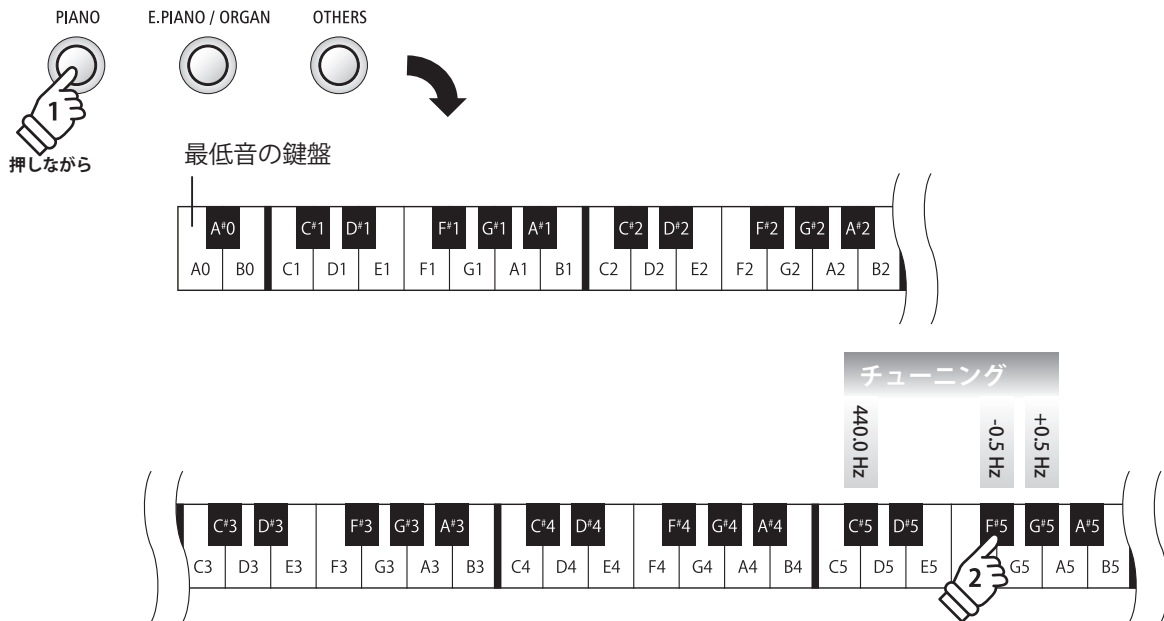
9 チューニング

チューニング設定では、全体的な音程を 0.5Hz 刻みで上げ下げできます。チューニングの異なる他の楽器と一緒に演奏するときに便利です。

* この設定はすべての音色に効果があります。

■チューニングの設定を調整する

音色ボタンを押しながら、-/+に割り当てられた鍵盤を押して、0.5Hz 刻みで鍵盤の音程を上げ下げします。



* 鍵盤の音程は 427Hz ~ 453Hz の範囲内で調整できます。

* 音程を 440.0Hz にリセットするには、上図のリセット鍵盤 (C#5) を押します。

* チューニング設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのチューニング設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

10 音律

音律の設定では、スタンダードな「平均律」からルネサンス期やバロック期に一般的だった様々な音律に変更することができます。

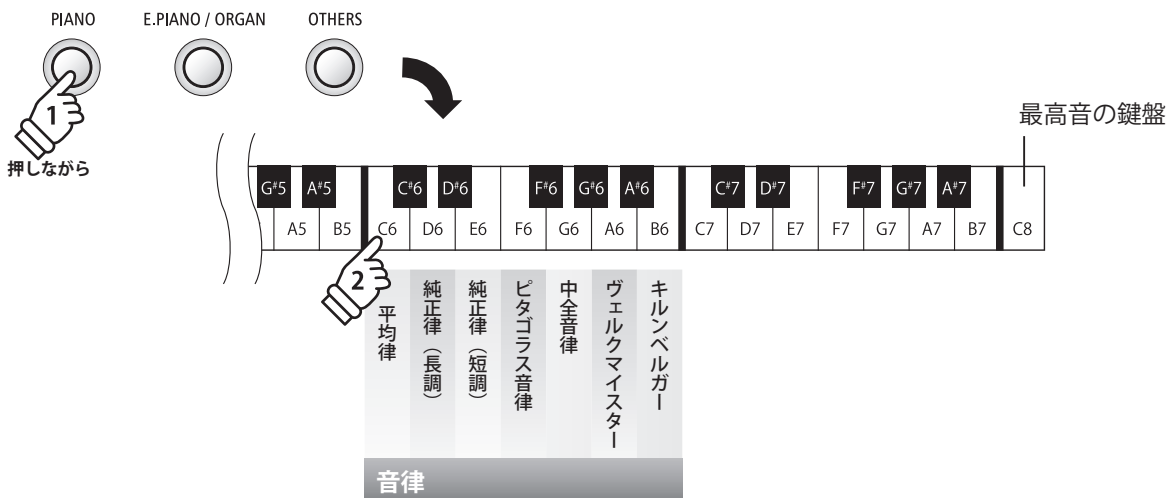
* この設定はすべての音色に効果があります。

■ 音律の種類

音律名	音律の説明
平均律 (Equal)	現在のピアノの調律方法として最も一般的なもので、どのように転調や移調をしても和音の響きが変わらないという特長があります。
純正律 〈長調 / 短調〉 (Pure Major/minor)	主要な3度と5度のうなりをなくした調律法です。主要三和音が美しく響きますが、それ以外の和音は濁るものがあります。 * 演奏する楽曲の調に合わせて主音を設定してお使いください。
ピタゴラス音律 (Pythagorean)	ほとんどの5度のうなりをなくした調律法で、多くの3度がうなるため和音を演奏すると響きが濁りますが、旋律を演奏するとその個性が良く出るのが特長です。
中全音律 (Meantone)	主要な長3度のうなりをなくすために少しだけ5度のうなりを許した調律法で、古い時代の鍵盤楽器で広く使用されました。
ヴェルクマイスター第三法 (Werkmeister) キルンベルガー第三法 (Kirnberger)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、旋律の個性が良く出るピタゴラス音律に近づく調律法です。古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することができます。

■ 音律を変更する

音色ボタンを押しながら、設定したい音律が割り当てられた鍵盤を押します。



* 音律の設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みの音律設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは P.19 と P.49 をご覧ください。

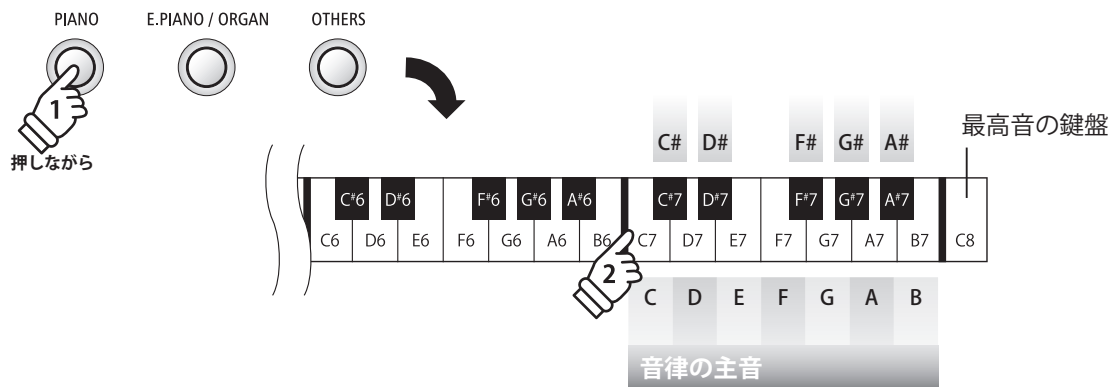
11 音律の主音の設定

音律の主音の設定では、選択した音律の主音を指定できます。平均律以外の音律を使う際には、この設定で曲の調号を指定します。

* この設定はすべての音色に効果があります。

■ 音律の主音を変更する

音色ボタンを押しながら、設定したい音律の主音に割り当てられた鍵盤を押します。



* 音律の主音の設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みの音律の主音の設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19とP.49をご覧ください。

12 エフェクトのオン／オフ

各音色について、エフェクト（効果）を加えるかどうかの設定を行います。

■エフェクトオン／オフ

エフェクトオン／オフ	効果	鍵盤
オフ	エフェクトをオフにします。	G#6
オン	エフェクトをオンにします。	F#6

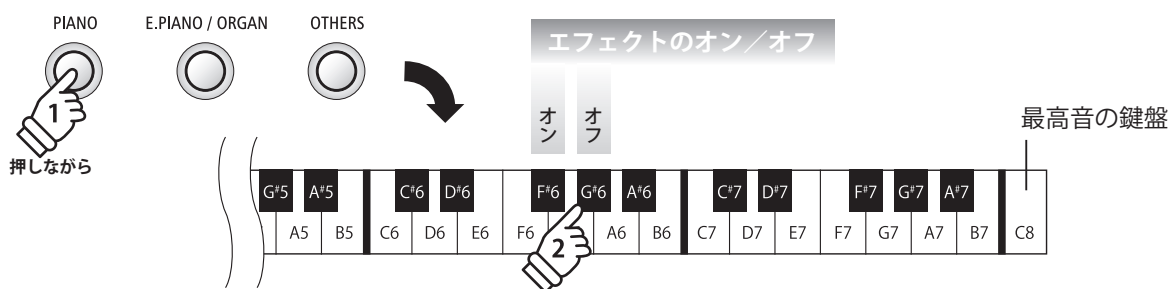
■音色とエフェクトの種類

音色	効果	初期設定
クラシック E. ピアノ	オートパン	オン
60's E. ピアノ	クラシクトレモロ	オン
モダン E. ピアノ	クラシックコーラス	オン
ジャズオルガン	ロータリー	オン
ビブラフォン	クラシクトレモロ	オン
その他の音色	クラシックコーラス	オフ

* ジャズオルガン音色を選択しているときは、FUNCTION ボタンと REC ボタンを同時に押すことで、適用されるロータリー効果のスピードを変更できます。

■エフェクトのオン／オフ設定を変更する

音色ボタンを押しながら、エフェクトのオン／オフに割り当てられた鍵盤を押します。



* エフェクトのオン／オフ設定は各音色について別々に変更できます。

* エフェクトのオン／オフの設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのエフェクトのオン／オフの設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

MIDI を設定する

MIDI とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、楽器やコンピューター、その他の機器を接続して、演奏データを交換できるようにするための国際標準規格です。

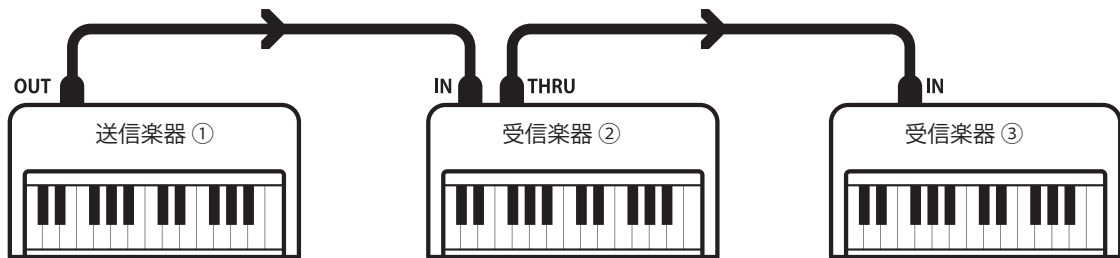
■ MIDI 端子

MIDI 端子名	機能
MIDI IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
MIDI OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

■ MIDI チャンネル

MIDI では、チャンネルを使って MIDI 機器間でデータをやりとりします。チャンネルには、受信チャンネル（MIDI IN）と送信チャンネル（MIDI OUT）の 2 種類があります。通常 MIDI 機能をもった楽器や機器は、MIDI IN 端子と MIDI OUT 端子の両方を備えていて、MIDI を介したデータの送受信が可能です。受信チャンネルは、他の MIDI 機器からデータを受信するために使われ、送信チャンネルは、他の MIDI 機器へデータを送信するために使われます。

下図は、3 台の楽器を MIDI を使って相互接続した様子です。



送信楽器①は送信チャンネルと鍵盤情報を受信楽器②・③に送ります。

受信楽器②・③に情報が届きます。

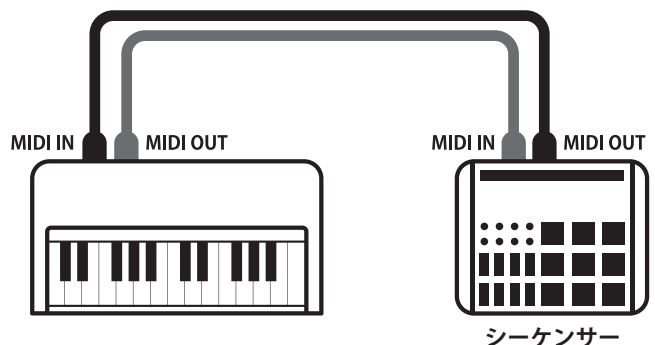
受信楽器②・③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば、受信楽器②・③は送られた MIDI データに応答します。

チャンネルが一致していなければ、受信楽器②・③は送られたデータに応答しません。

送信/受信とも、1～16 までのチャンネルを使用することができます。

■ シーケンサーを使った録音／再生

シーケンサーに接続すれば、マルチトラックの曲の録音／再生ができます。マルチトラックの演奏では、各チャンネルで別々の音色を同時に演奏できます。



MIDI を設定する

■ MIDI の機能

以下の MIDI 機能を使えます：

音の情報の送信／受信

MIDI に接続している楽器や機器との音情報の送受信をおこないます。

送信／受信チャンネルの設定

送信／受信チャンネルを 1 ～ 16 の範囲内で指定します。

エクスクルーシブデータの送信／受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送受信します。

マルチティンバーモードの設定

MIDI に接続している楽器や機器から複数チャンネルの MIDI データを受信し、各チャンネルで別々の音を鳴らすことができます。

* マルチティンバーモード設定がオンになっている必要があります。

プログラム（音色）ナンバー変更の送信／受信

MIDI に接続している楽器や機器との音色変更データの送受信をおこないます。

ペダルデータの送信／受信

MIDI に接続している楽器や機器とのサスティンペダル、ソステヌートペダル、ソフトペダルのデータの送受信をおこないます。

音量データの受信

MIDI に接続している楽器や機器から送られる MIDI 音量データを受信します。

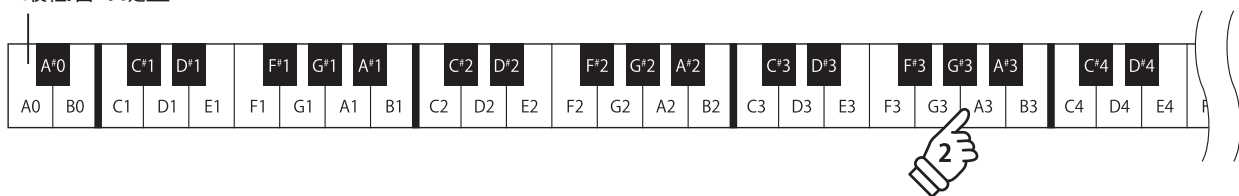
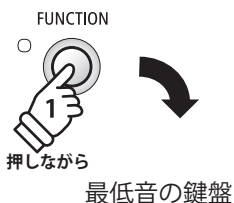
* MIDI 機能についての詳細は、「MIDI インプリメンテーションチャート」(P. 57) をご覧ください。

■ MIDI の設定

機能名	説明	初期設定
プログラムナンバーの送信	音色が変更されたときにプログラムナンバー情報を送信するか・しないかを指定します。 1 ～ 128 のプログラムナンバーを送信します。	オン
MIDI チャンネル	MIDI 情報の送受信に使うチャンネルを指定します。	1 チャンネル
ローカルコントロール	鍵盤を押したときに本体の音を出すかどうかを指定します。	オン
マルチティンバーモード	MIDI 情報を複数チャンネルで受信できるかどうかを指定します。	オフ

■ MIDI 設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、設定したい機能に割り当てられた鍵盤を押します。



1 プログラムナンバーの送信

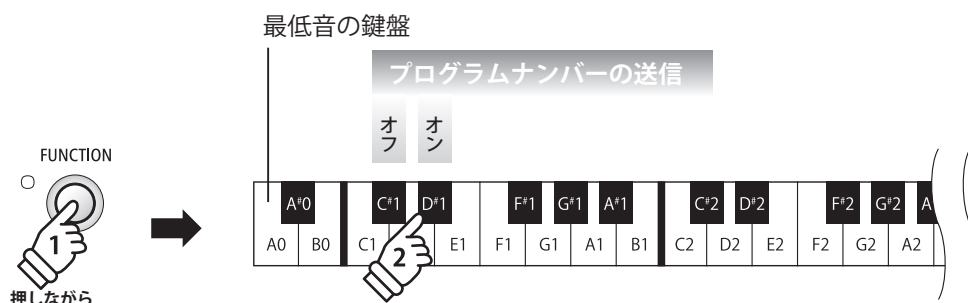
プログラムナンバーの送信設定では、音色が変更されたときに、プログラムナンバー情報を送るかどうかを指定します。また、プログラムナンバー（1～128の範囲）を送信して外部 MIDI 機器の音色を変更することもできます。

■プログラムナンバーの送信設定

プログラムナンバー送信設定	内容	鍵盤
オフ	プログラムナンバーは送信されません。	C#1
オン（初期設定）	音色リストのプログラムナンバーを送信します。	D#1

■プログラムナンバーの送信設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、プログラムナンバーの送信設定のオンまたはオフに割り当てられた鍵盤を押します。

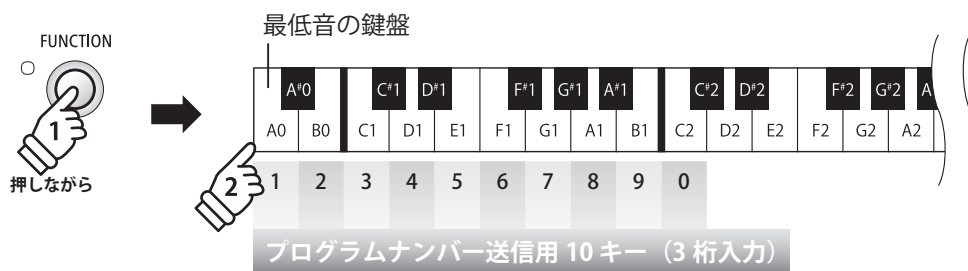


* プログラムナンバーの送信設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのプログラムナンバーの送信設定をスタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにすることもできます。くわしくは、P.49 をご覧ください。

■プログラムナンバーを送信する

FUNCTION ボタンを押しながら、送りたいプログラムナンバーを下図を参考にに入力します。



例：プログラムナンバー 064 を入力する場合
「0」「6」「4」と入力します。

* プログラムナンバーは 001～128 の範囲内の 3 桁の数字で指定します。

* プログラムナンバーは、3 番目の数字の鍵盤を押したときに自動的に送信されます。

2 MIDI チャンネル（送信／受信）

MIDI チャンネル設定では、送信／受信チャンネルを指定できます。選択したチャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの両方として機能します（送信／受信を別々のチャンネルに指定することはできません）。

■ MIDI チャンネル設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、設定したい MIDI チャンネルに割り当てられた鍵盤を押します。



* MIDI チャンネルは、1～16チャンネルの範囲から選ぶことができます。

* 本体の電源を入れると、MIDI チャンネルは自動的に「1」に設定されます（初期設定）。

* お好みの MIDI チャンネルの設定をスタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにすることもできます。くわしくは、P.49をご覧ください。

3 ローカルコントロール

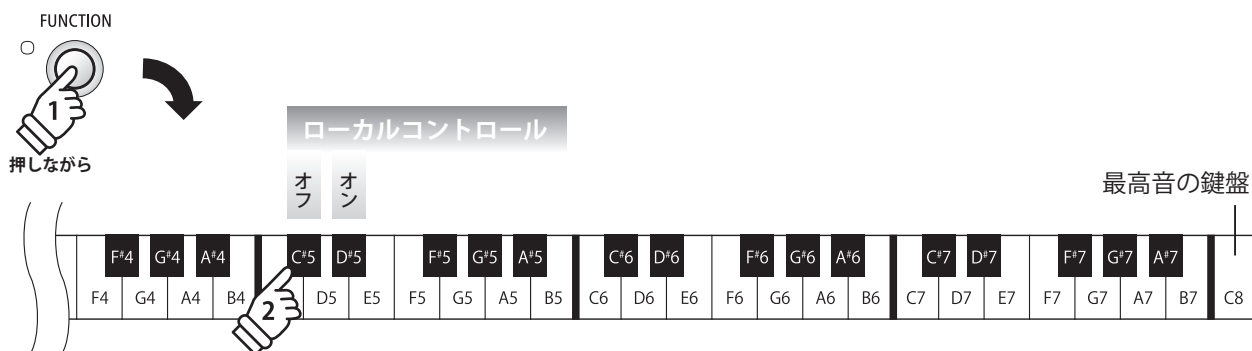
ローカルコントロール設定は、鍵盤を押したときにピアノ本体の音を鳴らすかどうかを指定します。外部 MIDI 機器を操作するときに有効です。

■ローカルコントロールの設定

種類	内容	鍵盤
オフ	鍵盤を弾いても本体の音は鳴らず MIDI 情報を送信するだけで MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。	C#5
オン (初期設定)	鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。	D#5

■ローカルコントロール設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、ローカルコントロール設定のオンまたはオフに割り当てられた鍵盤を押します。



* ローカルコントロール設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのローカルコントロール設定をスタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにすることもできます。くわしくは、P.49をご覧ください。

4 マルチティンバーモード

マルチティンバーモード設定では、複数の MIDI チャンネルで同時に MIDI 情報を受信できるかどうかを指定します。この機能により、外部 MIDI 機器から送られたマルチトラック（マルチティンバー）の演奏データを再生できます。

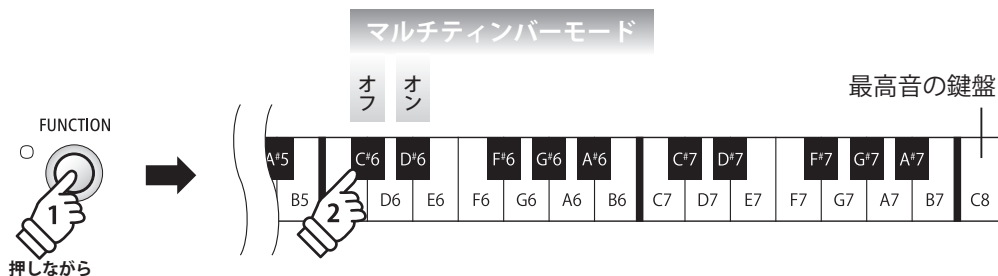
■マルチティンバーの設定

マルチティンバー	内容	鍵盤
オフ（初期値）	マルチティンバーモードをオフにします。	C#6
オン	マルチティンバーモードをオンにします。	D#6

* 下記の「プログラムナンバーの一覧」をご覧ください。

■マルチティンバーモード設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、マルチティンバーモード設定のオンまたはオフに割り当てられた鍵盤を押します。



■プログラムナンバーの一覧

音色名	マルチティンバーモードオフ	マルチティンバーモードオン		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク MSB	バンク LSB
コンサートグランド 1	1	1	121	0
コンサートグランド 2	2	1	95	16
スタジオグランド 1	3	1	121	1
スタジオグランド 2	4	1	95	17
メローグランド 1	5	1	121	2
メローグランド 2	6	1	95	18
モダンピアノ	7	2	121	0
ロックピアノ	8	2	121	1
クラシック E. ピアノ	9	5	121	0
60's E. ピアノ	10	5	121	3
モダン E. ピアノ	11	6	121	0
ジャズオルガン	12	18	121	0
チャーチオルガン	13	20	121	0
スロースtringス	14	45	95	1
Stringアンサンブル	15	49	121	0
ウッドベース	16	33	121	0
エレクトリックベース	17	34	121	0
ハーブシコード	18	7	121	0
ビブラフォン	19	12	121	0

スピーカーを設定する

1 スピーカー EQ

スピーカー EQ は、本機がテーブルの上に置かれているか、スタンドに設置されているかに対応して、スピーカーシステムの音質を最適化します。

ラインアウト接続を使うときに最適な音質を得るために、スピーカー EQ をオフにすることもできます。

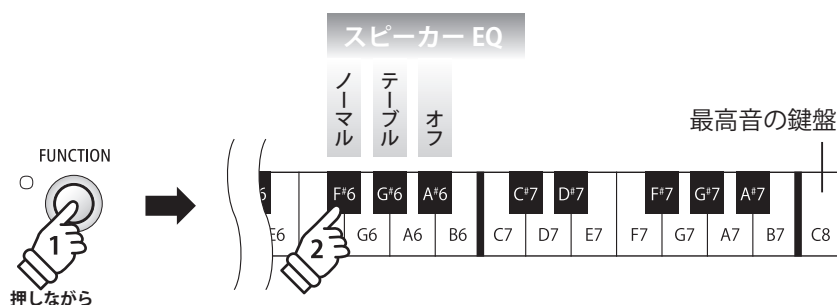
* この設定は、ヘッドホン出力には効きません。

■スピーカー EQ の設定

スピーカー EQ	内容	鍵盤
ノーマル (初期設定)	スタンドに設置したときに最適な音に設定します。	F#6
テーブル	テーブル上に設置したときに最適な音に設定します。	G#6
オフ	EQ をオフにします。ライン出力に接続したときに最適です。	A#6

■スピーカー EQ の設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、選びたいスピーカー EQ 設定に割り当てられた鍵盤を押します。



* スピーカー EQ の設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのスピーカー EQ の設定をレジストレーションメモリーに保存して呼び出しやすくしたり、スタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにしたりすることもできます。くわしくは、P.19 と P.49 をご覧ください。

2 スピーカーのオン／オフ

ピアノの内蔵スピーカーのオン／オフを行います。ラインアウト端子を介して外部スピーカーやアンプシステムに接続した際の、内蔵スピーカーが不要なときに有効です。

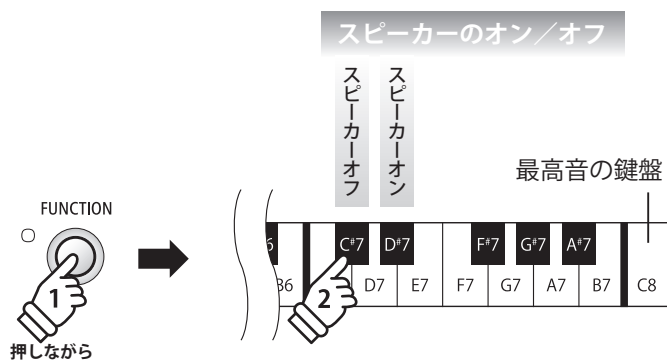
* 内蔵スピーカーは、ヘッドホン端子にヘッドホンを接続してもミュートできます。

■スピーカーのオン／オフの設定

スピーカーオン／オフ	内容	鍵盤
オフ	内蔵のスピーカーをオフにします。	C#7
オン (初期設定)	内蔵スピーカーをオンにします。	D#7

■スピーカーのオン／オフの設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、スピーカーのオンまたはオフに割り当てられた鍵盤を押します。



* スピーカーのオン／オフ設定への変更は電源を切るまで保持されます。

* お好みのスピーカーのオン／オフ設定をスタートアップセッティングメモリーに保存して電源を入れたときに自動的に選択されるようにすることもできます。くわしくは、P. 49 をご覧ください。

その他の設定をする

1 電源セッティング (オートパワーオフ)

一定の期間操作がないと自動的に電源を切るための節電機能があります。

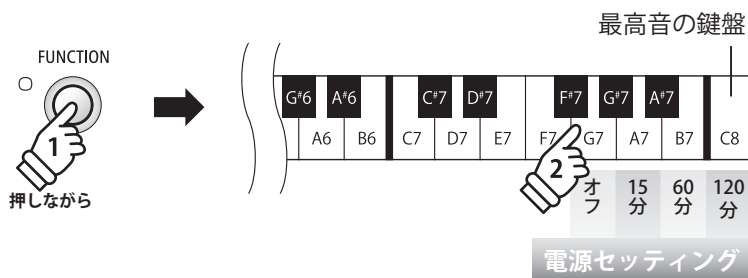
* この設定は自動的に保存され、楽器の電源を入れるたびに呼び出されます。

■電源セッティングの設定

電源セッティング	内容	鍵盤
オフ	電源が切れない設定です。	G7
15分	15分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。	A7
60分	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。	B7
120分	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。	C8

■電源セッティングの設定を選択する

FUNCTION ボタンを押しながら、選びたい電源セッティングに割り当てられた鍵盤を押します。



* 電源セッティングは自動的に保存され、楽器の電源を入れるたびに呼び出されます。

2 Bluetooth® MIDI

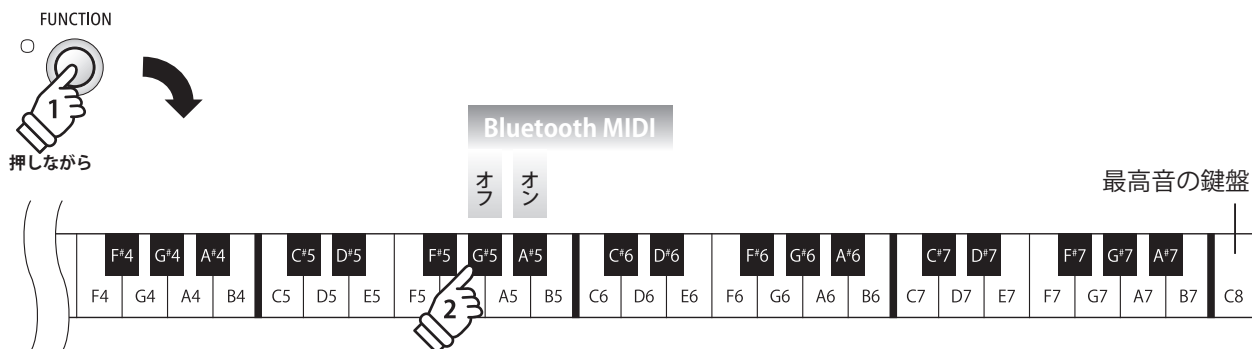
Bluetooth MIDI 機能のオン／オフを行います。オンにすると、無線 MIDI 通信を有するスマートフォンやタブレット、その他のスマート機器に接続して、幅広い音楽関連アプリを楽しむことができます。

■ Bluetooth MIDI の設定

Bluetooth MIDI	内容	鍵盤
オフ	Bluetooth MIDI 機能をオフにします。	G#5
オン (初期設定)	Bluetooth MIDI 機能をオンにします。	A#5

■ Bluetooth MIDI 設定を変更する

FUNCTION ボタンを押しながら、Bluetooth MIDI 設定のオンまたはオフに割り当てられた鍵盤を押します。



* Bluetooth MIDI 設定への変更は電源を切るまで保持されます。

■ Bluetooth® MIDI を使ってスマート機器に接続する

本機の Bluetooth MIDI 機能をオンにしてから、スマート機器の Bluetooth 通信をオンにします。しばらく経つと機器一覧に ES110 が表示されます。その ES110 表示をタップして、楽器をスマート機器に接続します。これで、MIDI アプリが本機と通信できるようになります。

- * スマート機器メーカーとアプリの開発者に、Bluetooth MIDI との互換性を確認してください。
- * Bluetooth 通信を行うときに起こる問題と推奨される対策は、取扱説明書（本書）の P.50 をご覧ください。
- * アプリケーションのご使用前に、下記の河合ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。
<https://www.kawai.jp>
- * スマートデバイスの周辺に本機が複数ある場合は、接続する本機のみ Bluetooth MIDI をオンにしてください。
- * スマートデバイスと接続している状態では、本機の MIDI は使用できません。

メモリー機能を使う

1 スタートアップセッティング

スタートアップセッティング機能では、お好みのパネル設定を本体のメモリーに保存して、電源を入れるたびに初期設定として自動的に呼び出すことができます。

■スタートアップセッティングのメモリーに保存される設定

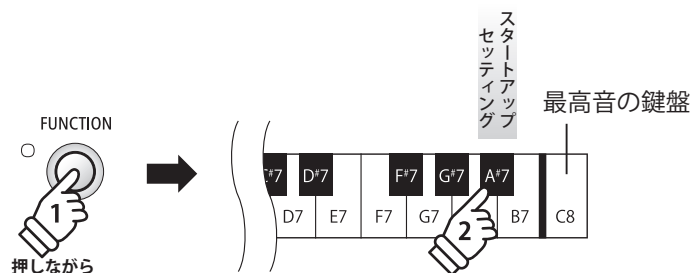
パネル	設定メニュー
音色 (デュアル・スプリットの音色設定を含む)	鍵盤・音色設定 *
デュアル/スプリットバランス	MIDI 設定
メトロノーム設定	スピーカー設定
	その他の設定

* トランスポーズ設定はスタートアップセッティングメモリーに保存されません。

* 電源セッティング設定は自動的にスタートアップセッティングメモリーに保存されます。

■現在の設定をスタートアップセッティングメモリーに保存する

FUNCTION ボタンを押しながら、スタートアップセッティング機能に割り当てられた鍵盤を押します。



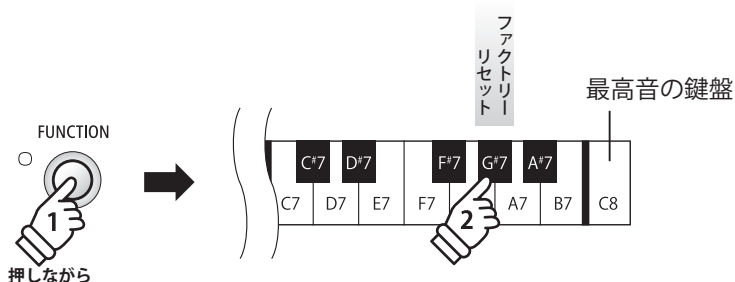
2 ファクトリーリセット

ファクトリーリセット機能は、スタートアップセッティング機能で保存した設定を全て消去し、工場出荷時の初期設定に戻します。

* この機能は、内部メモリーに保存されたレジストレーションメモリーやレコーダーソングは消去しません。

■ファクトリーリセットを実行する

FUNCTION ボタンを押しながら、ファクトリーリセット機能に割り当てられた鍵盤を押します。本体の電源を入れなおすとファクトリーリセットが実行されます。



困ったときは？

以下の表では、よくある症状をまとめ、原因と推奨される対策を説明しています。

	症状	考えられる原因と対策	参照ページ
電源	電源が入らない	AC アダプターを本体と AC コンセントにしっかりと接続します。	P. 12
	一定の時間操作がないと勝手に電源が切れる	「電源セッティング」設定を無効にします。	P. 47
発音	電源が入っているのに、鍵盤を押しても音が出ない	<p>マスターボリュームスライダーが一番小さい音の位置にないことを確認します。</p> <p>PHONES 端子にヘッドホン（またはヘッドホンアダプタープラグ）が接続されていないことを確認します。</p> <p>MIDI 設定メニューのローカルコントロール設定をオンにします。</p> <p>スピーカーのオン/オフ設定で内蔵スピーカーがオフになっていないことを確認します。</p>	<p>P. 12</p> <p>P. 11</p> <p>P. 43</p> <p>P. 46</p>
	非常に大きな音量で演奏すると音が歪む	音が激しく歪むときは、マスターボリュームスライダーを適切なレベルに設定して、音量を下げます。	P. 12
	ピアノ音色で演奏すると、異音やノイズが聴こえる	<p>アコースティックグランドピアノの本来の音を、できるかぎり正確に再現しようとしています。こうした音には、ダンパーレゾナンスやダンパーノイズが含まれています。</p> <p>このような音は、楽器をより自然なピアノの音に近づけるためのものですが、目立たないように小さくすることもできます。</p>	P. 26
	ダンパーペダルを踏んでいなくても、一番高い音域の 18 鍵では他の音よりもずっと長く音が伸びる	これは正常な動作であり、アコースティックグランドピアノのダンパーのついていない音（多くは、最高音域の 2 オクターブ）を再現しようとしているものです。	-
鍵盤	打鍵時に異音がする	<p>本機に搭載されているレスポンス・ハンマー・アクション・スタンダード（RHS）鍵盤は、ポータブル性を追求し、軽量かつコンパクトに設計されています。</p> <p>強く打鍵したときに特有の打鍵音を発生させる場合がありますが、製品の異常ではありません。</p>	-
MIDI	MIDI IN/OUT 端子で MIDI データを送信/受信できない	<p>MIDI チャンネルが正確に設定されていることを確認します。</p> <p>MIDI IN/OUT 端子が正確に接続されていることを確認します。</p> <p>Bluetooth MIDI 経由でスマート機器に接続していないことを確認します。</p>	<p>P. 42</p> <p>P. 48</p>
	本機をスマート機器/アプリに接続できない	<p>本機の Bluetooth MIDI 機能がオンになっていることを確認します。</p> <p>スマート機器/アプリの Bluetooth 機能がオンになっていることを確認します。</p> <p>スマート機器の「デバイスを消去する」機能を使って、本機の Bluetooth 接続を削除してみましょう。</p> <p>本機の電源を入れ直したり、スマート機器を再起動してみましょう。</p> <p>* スマート機器メーカーとアプリの開発者に、Bluetooth MIDI との互換性を確認してください。</p>	P. 48

設定の一覧

本機の設定／機能の設定範囲、初期設定、またレジストレーション／スタートアップセッティングで保存できるかどうかの一覧表です。

(●：保存可能)

設定名	範囲／種類	初期設定	レジストレーション	スタートアップセッティング
ノーマルモード				
音色	19 音色	コンサート グランド1	●	●
デュアルモード				
音色の組み合わせ	—	—	●	—
音量、バランス	0～8	4	●	●
スプリットモード				
音色の組み合わせ	—	—	●	—
音量、バランス	0～8	4	●	●
メトロノーム				
拍子／ビート	1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, ドラムリズム	4/4	●	●
音量	1～10	5	●	●
テンポ	10～300 (拍/分)	120 (拍/分)	●	●
キーボードと音色設定				
リバーブ	オフ, ルーム, スモールホール, コンサートホール	ルーム	●	●
ダンパーレゾナンス	オフ, スモール, ミディアム, ラージ	ミディアム	●	●
ボイスング	ノーマル, メロー, ダイナミック, ブライト	ノーマル	●	●
キーアクションノイズ	オフ, スモール, ノーマル, ラージ	ノーマル	●	●
ダンパーノイズ	オフ, スモール, ノーマル, ラージ	ノーマル	●	●
トランスポーズ	+/-12 半音	0	—	—
ブリリアンス	オフ, -10～+10	オフ	●	●
タッチ	オフ, ライト, ノーマル, ヘビー	ノーマル	●	●
チューニング	427～453Hz	440.0Hz	●	●
音律	平均律、純正律、ピタゴラス音律、中全音律、 ヴェルクマイスター第三法、キルンベルガー第三法	平均律	●	●
音律の主音	C～B	C	●	●
エフェクトオン/オフ	オン, オフ	P. 38 参照	●	●
MIDI 設定				
プログラムナンバーの送信	オン, オフ	オン	—	●
MIDI チャンネル	1ch～16ch	1ch	—	●
ローカルコントロール	オフ, オン	オン	—	●
マルチティンバーモード	オフ, オン	オフ	—	●
スピーカー設定				
スピーカー EQ	ノーマル, テーブル, オフ	ノーマル	●	●
スピーカーオン/オフ	オフ, オン	オン	—	●
その他の設定				
電源セッティング	オフ, 15 分, 60 分, 120 分	オフ	—	●*
Bluetooth オン/オフ	オフ, オン	オン	—	—
メモリー機能				
スタートアップセッティング	—	—	—	—
ファクトリーリセット	—	—	—	—

* 電源セッティング設定は自動的にスタートアップセッティングメモリーに記憶されます。

デモ曲一覧

鍵盤	音色名	曲名	作曲者名
A0	コンサートグランド 1	ベルガマスク組曲／前奏曲	ドビュッシー
B0	コンサートグランド 2	子犬のワルツ	ショパン
C1	スタジオグランド 1	オリジナル	カワイ
D1	メローグランド 1	ソナタ第 30 番	ベートーベン
E1	クラシック E. ピアノ	オリジナル	カワイ
F1	モダン E. ピアノ	オリジナル	カワイ
G1	ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
A1	チャーチオルガン	コラール前奏曲 “ 目覚めよ、と呼ぶ声あり ”	バッハ
B1	スロースtringス	オリジナル	カワイ
C2	エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
D2	ハーブシコード	フランス組曲第 6 番	バッハ
E2	ビブラフォン	オリジナル	カワイ

ドラムリズム一覧

No.	リズム名
1	8ビート1
2	8ビート2
3	8ビート3
4	16ビート1
5	16ビート2
6	16ビート3
7	16ビート4
8	16ビート5
9	16ビート6
10	ロックビート1
11	ロックビート2
12	ロックビート3
13	ハードロック
14	ヘヴィビート
15	サーフロック
16	セカンドライン
17	50 ウェイズ
18	バラード1
19	バラード2
20	バラード3
21	バラード4
22	バラード5
23	ライトライド1
24	ライトライド2
25	スムーズビート
26	リムビート
27	スロージャム
28	ポップ1
29	ポップ2
30	エレクトロポップ1
31	エレクトロポップ2
32	ライドビート1
33	ライドビート2
34	ライドビート3
35	ライドビート4
36	スリッパビート
37	ジャズロック
38	ファンキービート1
39	ファンキービート2
40	ファンキービート3
41	ファンク1
42	ファンク2
43	ファンク3
44	ファンクシャッフル1
45	ファンクシャッフル2
46	バズビート
47	ディスコ1
48	ディスコ2
49	ヒップホップ1
50	ヒップホップ2

No.	リズム名
51	ヒップホップ3
52	ヒップホップ4
53	テクノ1
54	テクノ2
55	テクノ3
56	ヘヴィテクノ
57	8シャッフル1
58	8シャッフル2
59	8シャッフル3
60	ブギ
61	16シャッフル1
62	16シャッフル2
63	16シャッフル3
64	Tシャッフル
65	トリプレット1
66	トリプレット2
67	トリプレット3
68	トリプレット4
69	トリプレットバラード1
70	トリプレットバラード2
71	トリプレットバラード3
72	モータウン1
73	モータウン2
74	ライドスウィング
75	H.H. スウィング
76	ジャズワルツ1
77	ジャズワルツ2
78	5/4 スウィング
79	ファスト4ビート
80	H.H. ボサノバ
81	ライドボサノバ
82	ビギン
83	マンボ
84	チャチャ
85	サンバ
86	ライトサンバ
87	スルドサンバ
88	ラテングループ
89	アフロキューバン
90	ソンゴ
91	ベンベ
92	メレンゲ
93	レゲエ
94	タンゴ
95	ハバネラ
96	ワルツ
97	ラグタイム
98	カントリー&ウェスタン
99	マーチ
100	6/8 マーチ

レッスン曲一覧

ブルクミュラー 25 の練習曲

A0	すなおな心
B0	アラベスク
C1	パストラル (牧歌)
D1	小さなつどい
E1	無邪気
F1	進歩
G1	清らかな小川
A1	優しく美しく
B1	狩
C2	やさしい花
D2	せきれい
E2	別れ
F2	コンソレーション (なぐさめ)
G2	シュタイヤー舞曲 (アルプス地方の踊り)
A2	バラード
B2	ちょっとした悲しみ
C3	おしゃべりさん
D3	気がかり
E3	アヴェマリア
F3	タランテラ
G3	天使の合唱
A3	バルカロール (舟歌)
B3	再会
C4	つばめ
D4	乗馬

アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー
レッスンブック レベル 1A

A0	右手と左手
B0	左手と右手
C1	メリーさんのボート
D1	ハンドベル
E1	サンタのおじさん
F1	マクドナルドのおじさん
G1	いっしょに遊ぼう
A1	おりこうワンちゃん
B1	動物園
C2	新しいポジション
D2	ボートのり
E2	ローラースケート
F2	まほうの井戸
G2	雨やんでよ!
A2	ハッピーソングパート1
B2	ド (C) ポジション
C3	ハッピーソングパート2
D3	シーソー
E3	ちょっとまって
F3	気球
G3	サードはだ〜れ?
A3	メキシカンハットのダンス
B3	ロック・ソング
C4	ロケット
D4	海の探検
E4	4度弾こう!
F4	7月4日と4度
G4	おじいちゃん
A4	誰かさんが好き
B4	運命の5度
C5	ロバのかっこうしたカッコウ
D5	ソ (G) ポジション
E5	ジングルベル
F5	好きな物 (なぞなぞ)
G5	ともだち
A5	ぼくのロボット
B5	ロックンロール
C6	インディアン・ソング
D6	ポツツンザツツ
E6	ハロウィン
F6	馬カン

アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー
レッスンブック レベル 1B

A0	どう?ソーか!
B0	メリーゴーランド
C1	アメリカ
D1	ブラザージョン
E1	いい音だワン!
F1	カッコウのかーっ子
G1	お金がすべてじゃない!
A1	ピンポン
B1	おじいさんの大時計
C2	聖者の行進
D2	バッグ (BAG) に G がある!
E2	バタフライで泳ごう!
F2	ウン・パッパ!
G2	ピエロ
A2	親指ド (C)
B2	ワルツタイム
C3	ウェンセラスの王様
D3	虹
E3	グッドモーニングトゥユー
F3	ハッピーバースデートゥユー
G3	ヤンキーードウードゥル
A3	風車
B3	インディアン
C4	新しいソ (G) ポジション
D4	ペダルを使って
E4	ハーブソング
F4	コンサートタイム
G4	オルゴールロック
A4	カウボーイソング
B4	手品師
C5	世界で一番のサーカス
D5	たつまき小僧
E5	惑星
F5	ハ長調の曲
G5	ト長調の曲
A5	ト長調の音階 (G メジャー) の賛美歌
B5	ハ長調の音階 (C メジャー) の賛美歌
C6	フランスの子守歌
D6	ソナチネ
E6	元気いっぱいのもーち

主な仕様

■ KAWAI ES110 デジタルピアノ

鍵盤	88 鍵 レスポンス・ハンマー・アクション・スタンダード (RHS)		
音源	HI (Harmonic Imaging™) による 88 鍵ピアノサンプリング		
音色	19 音色	ピアノ	E. ピアノ/オルガン その他
		コンサートグランド 1 コンサートグランド 2 スタジオグランド 1 スタジオグランド 2 メローグランド 1 メローグランド 2 モダンピアノ ロックピアノ	クラシック E. ピアノ 60's E. ピアノ モダン E. ピアノ ジャズオルガン チャーチオルガン スロースtringス Stringスアンサンブル ウッドベース エレクトリックベース ハーpsiコード ビブラフォン
同時発音数	最大 192 音		
演奏モード	デュアルモード、スプリットモード		
リバーブ	ルーム、スモールホール、コンサートホール		
設定	タッチカーブ、ボイスing、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、キーアクションノイズ、音律 (テンペラメント)、音律の主音、エフェクトのオン/オフ		
内部レコーダー	3 曲、レコーダー：約 15,000 音の記憶容量		
メトロノーム	1/4 拍子、2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子、5/4 拍子、3/8 拍子、6/8 拍子 (ボリューム/テンポ調整可)		
リズム	100 種類		
デモ曲	音色デモ 12 曲		
レッスン曲	全 106 曲 ブルクミュラー (25 曲) アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー レッスンブック レベル 1A (41 曲) アルフレッド・ベーシックピアノライブラリー レッスンブック レベル 1B (40 曲)		
その他の機能	トランスポーズ、チューニング、スプリットバランス、デュアルバランス、MIDI チャンネル、ローカルコントロール、送信 PGM#、マルチティンバーモード、スピーカー EQ、スピーカーのオン/オフ、電源セッティング、Bluetooth MIDI、スタートアップセッティング、ファクトリーリセット		
Bluetooth	Bluetooth (Ver.4.1;GATT 互換) Bluetooth Low Energy MIDI 仕様互換		
コネクター	MIDI (IN/OUT)、LINE OUT (L/MONO,R)、DAMPER (F-10H 用)、ヘッドホン× 2		
スピーカーシステム	スピーカー：	12cm × 2	
	出力：	7W × 2	
消費電力	9W		
寸法	131.5 (W) × 29 (D) × 15 (H) cm		
重量	12.0kg		
仕上げ	ブラック、ホワイト		

* 仕様は予告なしに変更される場合があります。

MIDI インプリメンテーションチャート

■ KAWAI ES110 デジタルピアノ

Date : May 2018 Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源 ON 時	1	1	
	設定可能	1 - 16	1 - 16	
モード	電源 ON 時	モード 3	モード 1	** 電源 ON 時オムニオン。 MIDI チャンネル設定操作によ りオムニオフ。
	メッセージ	×	モード 1, 3**	
	代用	*****	×	
ノートナンバー		9 - 120*	0 - 127	* トランスポーズ設定範囲を含 みます。
	音域	*****	0 - 127	
ベロシティ	ノート・オン	○	○	
	ノート・オフ	○	○	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0, 32	○	○	バンクセレクト ボリューム サステインペダル ソステヌートペダル ソフトペダル
	7	×	○	
	64	○ (右ペダル)	○	
	66	○ (中ペダル)	○	
	67	○ (左ペダル)	○	
プログラムチェンジ		○ (0 - 127) *****	○ (0 - 127)	
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル ON/OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○	
	アクティブセンシング	×	○	
	リセット	×	×	
備考				






モード 1 : オムニオン、ポリ
モード 3 : オムニオフ、ポリ



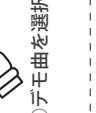

モード 2 : オムニオン、モノ
モード 4 : オムニオフ、モノ

○ : あり
× : なし

デモ

機能

 PIANO
 E.PIANO / ORGAN
または
 FUNCTION
 PLAY / STOP
+
 DEMO
 ①デモモードに入る

 FUNCTION
+
 PIANO
または
 E.PIANO / ORGAN
または
 OTHERS
 ②デモ曲を選択する

スタートアップセッティング

ファクトリーリセット

スピーカーオン / オフ

スピーカーEQモード

Bluetooth MIDI

スピーカーオン / オフ

スピーカーオフ / オフ

ノーマル / テーブル / オフ




F5	G5	A5	B5	C6	D6	E6	F6	G6	A6	B6	C7	D7	E7	F7	G7	A7	B7	C8
F5	G5	A5	B5	C6	D6	E6	F6	G6	A6	B6	C7	D7	E7	F7	G7	A7	B7	C8

15分 60分 120分

電源セッティング

レッスン

〈曲を聴く〉






 LESSON
 PLAY / STOP
+
 OTHERS

〈練習を開始するパートを選択する〉

 OTHERS

- 1 回押すと左手パートのみ
- 2 回押すと右手パートのみ
- 3 回押すと両手パートに戻る

〈楽譜集・曲選択〉

 LESSON
+
 FUNCTION
+
 PIANO
または
 E.PIANO / ORGAN
または
 OTHERS

A0	B0	C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2
A0	B0	C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ...

曲番号




* アルファベット A

* アルファベット B

* 曲を選択する前にこのキーを押して、楽譜集を選択します。

レジストレーション

〈レジストレーションメモリー選択〉



 FUNCTION
+
 REGISTRATION
+
 REGISTRATION

① REGISTRATION ボタンを押す

② 1～4 ボタンを押す

1 または 2 または 3 または 4

〈レジストレーションメモリーに記憶〉

 FUNCTION
 押しながら
+
 REGISTRATION
+
 REGISTRATION


① レジストレーション ボタンを長押しする

② 1～4 ボタンを押す

1 または 2 または 3 または 4

レコーダー

〈録音する〉




 REC
+
 PLAY / STOP

- ① 録音するソング番号を選ぶ
- ② 録音スタート

〈再生する〉

 PLAY / STOP
+
 PLAY / STOP

〈ソング全消去〉

 REC
+
 PLAY / STOP
+
 POWER

① 同時に押しながら

② 電源 ON

A0	B0	C1	D1	E1
A0	B0	C1	D1	E1

ソング 1 2 3

ソング選択

株式会社河合楽器製作所

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
<https://www.kawai.jp/>

■ お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用ください。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

◆お客様サポート・お問合せフォーム

<https://www.kawai.jp/> より「お客様サポート」へ
お進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

